

Pioneer sound.vision.soul



MDLP



はじめに

基本操作

テレビ

ラジオ

CD

MP3ディスク

MD

交通情報

DVD

ミュージックサーバー

TVモニター設定

VTR

バックカメラ

音の調整

その他の機能

付録

Audio Book

6.5型ワイドTV/DVD/MD/CD・HDD・DSP AVナビサーバー

AVIC - ZH9MD

タッチパネルタイプ

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

 **注意** この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。
注意

 このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。
禁止

 このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。
必ず行う

安全上のご注意 （別冊の「安全上のご注意」もお読みください）

警告

【使用方法】

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

【異常時の処置】

故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
	注意マーク 操作を行う状況においての注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
	メモマーク 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
	タッチボタンを表します。 例：  にタッチする
	ナビゲーション本体についているボタンを表します。 例：  を押す
斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例： 「MP3について」(128P)
つづく→	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。

メモ

本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。
実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

目次

安全のために必ずお守りください	2
安全上のご注意	3
本書の見かた	4
本書の表記のしかた	4

はじめに

ご使用前に知っておいて いただきたいこと	9
各部の名前とおもな働き	10
長時間録音されたMDの 再生について	11
MDLPについて	11
ディスクの入れかた・ 取り出しかた	12
ディスクの入れかた	12
ディスクの取り出しかた	13
画面が見にくいときに 角度を調節する	14
再生できるディスクの種類 DVDに表示されている マークの意味	17
ディスクの操作について	17
ディスクの構成について DVDビデオ	18
CD	18
ミュージックサーバーに録音する 録音についてのご注意	19

基本操作

ソースを切り替える	20
ソースの切り替えかた	20
オートアンテナの操作について	22
音量を調整する	23

テレビ

テレビの見かた	24
チャンネルを順番に見る	25
チャンネルをすばやく探す (自動選局)	25
記憶されたチャンネルの 呼び出しかた	26
プリセットの種類を選ぶ プリセットチャンネルを 順に呼び出す	27
プリセットチャンネルの リストから呼び出す	27
テレビのいろいろな見かた	28
BSSM	28
BAND	28
音声多重	29
映像切替	29
テレビ音声の録音	29
手動でチャンネルを記憶させる	30
AV設定画面の表示	30
リストOFF	30

ラジオ

ラジオの聞きかた	31
ラジオを聞く	31
選局する	32
ラジオを消す	32
記憶された放送局を呼び出す プリセットの種類を選ぶ プリセット放送局を順に 呼び出す	33
プリセット放送局のリストから 呼び出す	33
ラジオのいろいろな聞きかた	34

BSM	34	ランダム再生	47
ラジオ音声の録音	34	スキャン再生	47
手動で放送局を記憶させる	35	再生を一時停止する	48
AV設定画面の表示	35	MD音声の録音	48
リストオフ表示	35	AV設定画面の表示	48
		リストオフ表示	48
CD		交通情報	
CDの聞きかた	36	交通情報の聞きかた	49
再生する	36	交通情報を録音する	49
再生を停止する	36		
CDのいろいろな再生のしかた	37	DVD	
リピート再生	37	DVDの見かた	50
ランダム再生	37	再生する	50
スキャン再生	38	タイトルを進める / 戻す	50
再生を一時停止する	38	チャプターを進める / 戻す	50
AV設定画面の表示	39	メニュー画面の操作	51
リストオフ表示	39	見たい場面をダイレクトに選ぶ	51
MP3ディスク		早送り / 早戻しをする	52
MP3ディスクの聞きかた	40	再生を停止する	53
再生する	40	DVDのいろいろな再生のしかた	54
再生を停止する	41	静止画再生	54
MP3ディスクのいろいろな		コマ送り再生	54
再生のしかた	42	スロー再生	55
リピート再生	42	リピート再生	55
ランダム再生	42	音声を切り替える	56
スキャン再生	43	字幕を切り替える	56
再生を一時停止する	44	アングルを切り替える	57
詳細情報を見る	44	ディスクに指定された	
AV設定画面の表示	45	位置まで戻って見る	58
リストオフ表示	45	AV設定画面の表示	58
MD		コンディションメモリー	
MDの聞きかた	46	について	58
再生する	46	初期設定をする	59
再生を停止する	46	初期設定メニューの	
MDのいろいろな再生のしかた	47	表示のしかた	59
リピート再生	47	字幕言語を設定する	60
		音声言語を設定する	60

メニュー言語を設定する	61	プレイリストの編集	82
アシスト字幕の表示 / 非表示を設定する	62	プレイリストを作成する	82
アングル選択マークの表示 / 非表示を設定する	62	プレイリストの情報を編集する	84
暗証番号と 視聴制限レベルの設定	63	プレイリストの再生順番を 変更する	87
テレビアスペクト (画面の縦横比)を設定する	64	プレイリストを消去する	88
視聴制限を設定する	65	再生しないプレイリストを 設定する	89
ミュージックサーバー		プレイリストに曲を追加する	90
ミュージックサーバーとは	66	トラックの情報を編集する	91
ミュージックサーバーの聞きかた 再生する	67	曲の再生順番を変更する	92
再生を停止する	68	ヒットチャートにリンクを つける	93
リストから聞きたいプレイ リストまたは曲を探す	68	曲を消去する	93
リストオフ表示	69	タイトル情報を取得する	95
詳細情報を表示する	69	PCカードに記録された MP3ファイルを聞く	99
ミュージックサーバーの いろいろな再生のしかた	70	PCカード内の MP3ファイルの聞きかた	99
リピート再生	70	TVモニター設定	
ランダム再生	70	TVモニターの設定	101
スキャン再生	71	画質調整	101
再生を一時停止する	72	ワイド画面の拡大方法を 切り替える	103
ヒットチャートより再生する	72	ワイドモードの種類	104
ミュージックサーバーに録音する	76	画面の表示モードを 切り替える	105
録音についてのご注意	76	画面を消す	106
CD録音モードを設定する	76	VTR	
録音時間を設定する	77	VTRを見る	107
録音速度を設定する	77	VTRの入力を設定する	107
CD録音の制限について	78	VTRの見かた	107
CD再生中に自動的に録音する	79		
CDを手動で録音する	79		
CDの1曲目だけを 自動的に録音する	80		
CD以外のソースを録音する	81		

バックカメラ

バックカメラに切り替える	108
バックカメラの入力を 設定する	108
バックカメラの切り替えかた	108

音の調整

音を調整する	109
AV設定画面	109
前後左右の音量バランスを 調整する	111
小音量時の音にメリハリを つける	112
各ソースの音量の違いを そろえる	112
音声案内がよく聞こえる ようにする	113
5.1ch DSPユニットを ON/OFFする	114
音場と音質の調整	115
イコライザーカーブを選ぶ	115
イコライザーカーブを だまかに補正する	115
イコライザーカーブを 細かく調整する	116
イメージに合った音場設定で 演奏会場を再現する	117
音場の中心で聞く	119
車種に合ったタイム アライメントを選ぶ	120
タイムアライメントを 詳細に設定する	121
サブウーファー出力を 設定する	122
低い音を出力しない ようにする	123
音の歪みを補正する	124
音の幅を設定する	124

その他の機能

音声で操作できる機能	125
本機のリセットのしかた リセットする	126
リアモニターを組み合わせる リアモニターに表示される 映像について	127

付録

MP3ファイルについて	128
MP3とは?	128
MP3について	128
再生できるMP3ファイル について	128
フォルダとMP3ファイル について	129
言語コード表	130
DVD用語の解説	131
MP3用語の解説	132
故障かなと思ったら	133
共通項目	133
テレビ	135
ラジオ	135
MD	136
DVD	136
CD/MP3ディスク	138
MP3ファイル	138
ミュージックサーバー	139
こんなメッセージが表示されたら	140
共通項目	140
DVD/CD/MP3ディスク	140
MD	141
ミュージックサーバー	142
索引	143
メニュー索引	143
用語索引	144
五十音順	144
数字・アルファベット順	145

ご使用前に知っておいていただきたいこと

安全走行のために

本機は、安全のため走行中にテレビやVTRなどの映像を見ることができないようになっています。(走行中は、映像の上に以下のようなメッセージが表示されます。)また、走行中はナビゲーションやオーディオ、画面表示の各種設定・調整は一部できません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけ、メッセージが消えてから、操作してください。

(例) テレビを見ようとしたとき



画面が見えにくいときは

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、TVモニターの角度や見る角度に合わせて黒の濃さを調整してください。また、液晶画面自体の明るさも変更できますので、お好みに応じて調整してください。

「画質調整」(101P)、「画面が見にくいときに角度を調節する」(14P)

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、かならず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

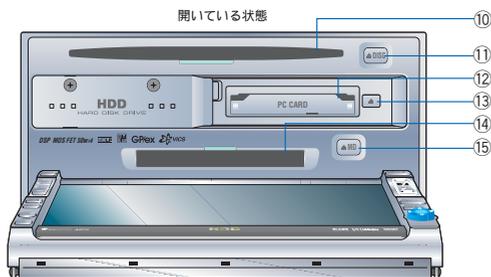
携帯電話をお使いになる際のご注意

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをディスプレイ部に近づけないでください。画面にはん点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

ディスプレイ部の液晶画面を保護するために

本機を使用していないときは、ディスプレイ部に直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障する恐れがあります。

各部の名前とおもな働き



- ① OPEN/CLOSEボタン
ディスプレイ部を開いたり、閉じたりするときに押します。
ご注意
ディスプレイを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。
- ② SRC・NAVI/AVボタン
SRCボタンはソース（音源・映像）を切り替えたり、長く押すとソースをON/OFFします。
NAVI/AVボタンはナビゲーション画面とソース画面を切り替えます。
- ③ 画面ボタン
画面表示モードを選択するときに押します。長く押すと[画質調整]画面を表示させます。
- ④ ANGLEボタン
ディスプレイ部の角度を調整します。
- ⑤ リセットボタン
マイコンをリセットします。
- ⑥ HDD RECボタン
再生中の音声を録音します。
- ⑦ TIボタン
主要道路に設置してある交通情報を受信するときに押します。長く押すとオートアンテナをON/OFFします。
- ⑧ ▲/▼/◀/▶ボタン
曲の早送りや巻き戻し、FM/AM、TVのチャンネルを変えるときなどに使用します。
- ⑨ VOLUMEボタン
音量を大きくするときは+側を押します。小さくするときは-側を押します。
- ⑩ ディスク挿入口
DVDやCDなどを挿入します。
- ⑪ ディスク取り出しボタン
DVDやCDなどを取り出すときに押します。
- ⑫ PCカード挿入口
PCMCIAタイプIIのPCカードを挿入します。
- ⑬ PCカード取り出しボタン
PCカードを取り出すときに押します。
- ⑭ MD挿入口
MDを挿入します。
- ⑮ MD取り出しボタン
MDを取り出すときに押します。

長時間録音されたMDの再生について

本機はMDLPに対応しています。長時間録音されているMDも再生することができます。

MDLPについて

- MDLPとは、今までお使いになっているMDで、従来の録音できる時間より長く（2倍、4倍の時間）録音することができる圧縮方式です。
- 本機はMDのグループ機能に対応していません。グループ登録されたMDを再生すると、ディスクタイトルはグループ名などを含めた状態で表示されます。

ディスクの入れかた・取り出しかた

ディスクの入れかた

1

OPEN を押す

ディスプレイ部が開き、ディスク挿入口があらわれます。

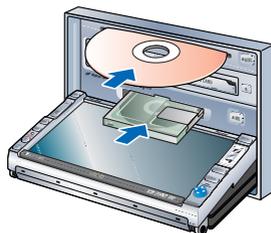


ご注意

ディスプレイを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

2

指定の挿入口にタイトル面を上にしてディスクを差し込む
ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれます。



ご注意

- 8 cmディスクもアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- ディスク挿入口には、ディスク以外のものを入れないでください。

3

ディスクが奥まで挿入されると自動的にディスプレイ部が閉じます

ディスクの取り出しかた

1

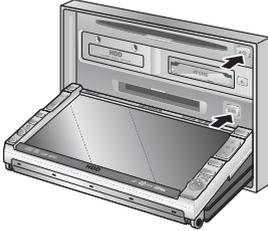
OPEN を押す

ディスプレイ部が開きます。

2

DISC または、 **MD** を押す

ディスクが自動的に押し出されます。



メモ

出てきたDVDやCD、MDはすぐに取り出して保管してください。

3

ディスクを差し込み口から取り出したあと、もう一度 **OPEN** を押す

ディスプレイ部が閉じます。

ご注意

- ディスプレイを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったりして、思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスプレイ部が完全にオープン/クローズしないうちに、操作しないでください。操作した場合（CDなどを挿入、取り出しボタンを押す）安全のためディスプレイ部がその角度で停止します。
- ディスプレイ部を手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくで故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、ディスクを出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。

メモ

ディスプレイ部が完全に開いた状態で、車のエンジンスイッチをOFFにすると「ディスプレイ部が開いています。表示部保護のため、お閉めください。」と音声メッセージが流れます。ACCをONにし、**OPEN** を押してディスプレイ部を閉じてください。

画面が見にくいときに角度を調節する

画面の角度を7段階に調整できます。車外からの光が画面に反射しているときなどは、見やすくなるように調整してください。

1

ANGLE を押す

ディスプレイ部が斜め上方に1段階傾きます。ボタンを押すごとに1段階ずつ傾いていきます。

ANGLE を長く押すと連続して傾いていき、離れたところで止まります。(7段階目になると自動的に止まります。

傾きが7段階目のときにボタンを押すと、ディスプレイ部が閉じます。



ご注意

- ディスプレイの角度を調節するときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。
- 本機は、エンジンを切る（ACCをOFFにする）とディスプレイの傾きが自動的に傾いていない状態に戻ります。エンジンを切るときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

メモ

- ディスプレイ部を傾けた状態でも、**OPEN** を押すとディスプレイ部が開きます。ディスプレイ部を閉じると、傾いた状態に戻ります。
- ディスプレイ部を傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的に閉じます。次にエンジンスイッチをACCまたはONにしたときは、傾いた状態に戻りません。

再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間	
DVDビデオ  	DVDビデオ	(MPEG 2方式)	
	12 cm/片面	1層 2層	133分 242分
	12 cm/両面	1層 2層	266分 484分
	DVDビデオ	(MPEG 2方式)	
	8 cm/片面	1層 2層	41分 75分
	8 cm/両面	1層 2層	82分 150分
CD 	CD	74分	
	12 cm/片面		
	CDシングル 8 cm/片面	20分	

メモ

- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。また、一部のDVDビデオディスクにおいて、再生できない場合があります。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されたものだけに限り、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-RWディスクは再生できません。
- CD-TEXTは、再生することはできますが、タイトルなどの文字情報は表示できません。
- CD-Extraは、音楽CDとして再生することができます。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

メモ

- DVDオーディオやDVD-ROMなどは再生できません。本機で再生できるのは、前ページに記載されているマークの付いたディスクのみです。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RW、DVD-R/RWディスクは再生できません。
- ディスククローズしていないディスク（追記可能なディスク）は再生が始まるまで時間がかかります。
- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）
- 音楽用CDレコーダーで録音したものの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数
	字幕の数
	アングルの数
	画面サイズ (アスペクト比：横と縦の比率)の種類
	再生可能な地域番号(リージョン番号) 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



DTS は米国Digital Theater Systems,Inc.の登録商標です。

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

ディスクの構成について

DVDビデオ

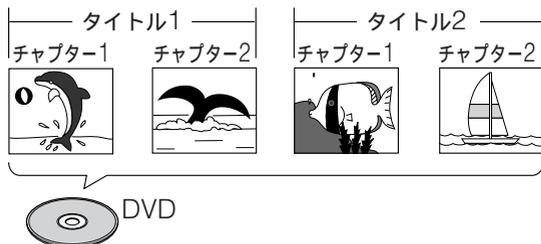
DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

カラオケディスク

1曲が1タイトルとなっています。



メモ

上記のような構成（区切りのしかた）になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



ミュージックサーバーに録音する

録音についてのご注意

録音する前に必ずお読みください。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- お客さまが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録音したものが、原音とは音質が異なる、またノイズが発生する可能性があります。ご容赦ください。

ソースを切り替える

ソースの切り替えかた

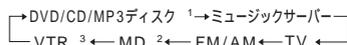
CDやミュージックサーバーなどの音源、およびDVDやビデオなどの映像をソースと呼びます。

ソースを切り替えると、画面にそれぞれの状態が表示されます。

ソースの切り替えかた

1  を押して、ソースを切り替える

 を押すごとに、以下のように切り替わります。



メモ

- ¹ DVD/CD/MP3のディスクが挿入されていない場合は、DVD/CD/MP3には切り替わりません。
- ² MDが挿入されていない場合は、MDへは切り替わりません。
- ³ [AV設定]の[入出力設定]でVTR入力をONにすると、VTRにも切り替わるようになります。
「VTRの入力を設定する」(107P)
- CD-ROM (MP3が入っていないCD-Rを含む) が挿入された場合は [CD-ROMが挿入されました。] と表示されます。
- 非再生ディスクが挿入された場合は [再生できません。ディスクを取り出してください。] と表示されます。

ソースをOFFにする

1  を長く押す
ソースがOFFになります。
もう一度  を押すと、OFFにする前のソース画面に戻ります。

メモ

ソースをOFFにしても、ナビゲーションの音声案内は流れます。

ソース画面に切り替える

ナビゲーション画面からソース画面(テレビ、VTR、DVD、CD/MP3ディスク、MD、ミュージックサーバー)に切り替えるには、以下のようにします。

1  を押す
 を押すごとに、以下のように映像が切り替わります。

ナビゲーション画面



ソース画面



メモ

ソース画面は、 を押して選択される画面のことです。

ソースプレートを手動で表示させる
テレビを見ていてチャンネルを確認したいときなどに、ソースプレートを表示させることができます。また、表示中のソースプレートを消すこともできます。

1

を押す

ソースプレートが表示、または消去されます。

**メモ**

ソースプレートの表示は約8秒後に自動的に消えます。

オートアンテナの操作について

本機をオートアンテナ車に取り付けた場合は、本機の電源ONに連動してオートアンテナが上がる場合があります。屋内ではご注意ください。オートアンテナは、本機の操作で上げ下げすることができます。

1

II を長く押す

ボタンを長く押すごとにオートアンテナがON（上げる）とOFF（下げる）に切り替わります。



メモ

オートアンテナ車以外では常にオートアンテナの設定をONにしておいてください。OFFに設定するとAM/FMラジオやVICS/FM多重放送の受信ができなくなる場合があります。

音量を調整する

音量を調整するには、次のようにします。

1

各ソースの画面で、 または  を押して音量を調整する



+ 音量を大きくするとき

- 音量を小さくするとき

ご注意

車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因となります。安全運転をさまたげないように適度な音量でお聞きましょう。

メモ

- 0～40の範囲で調整できます。
- ボリューム調整画面は、およそ4秒間表示されます。
- 5.1ch DSPユニットの設定がONになっているときは、ボリューム調整できません。

テレビの見かた

テレビを見るには、次のようにします。

ご注意

停車中でパーキングブレーキがかかっているときは、ディスプレイ部でテレビ映像を見られます。走行中は安全のためにディスプレイ部には、テレビ映像は表示されません。

テレビの見かた

1

 を押して、ソースを [TV] に切り替える

プリセットチャンネル選択画面が表示されます。表示されていない場合は画面にタッチします。

映像がナビゲーション画面のときに、ソースを [TV] にした場合は、音声のみ切り替わります。 を押すとTV画面またはプリセットチャンネル選択画面になります。

現在選局中の



ステレオ / 音声多重放送表示

TV映像のときに数秒間何も操作しないと、タッチスイッチは自動的に画面上から消えます。

再表示するときは、画面にタッチします。

メモ

画面には、6チャンネル分のチャンネルリストが表示されます。7チャンネル目以降のチャンネルリストを表示させるには、 または  にタッチします。

2

チャンネルリストの中の見たいチャンネルにタッチする

選択したチャンネルの映像が表示されます。

メモ

- 受信できるチャンネルは、1ch ~ 62chです。
- ステレオ放送を受信した場合は、[STEREO] が表示され、音声多重放送を受信した場合は、[BILINGUAL] が表示されます。
- 電波の弱い地域では、テレビの映像が乱れる場合があります。
- トンネル内や山かげ、ピルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所では、テレビの映りが悪くなる場合があります。
- 走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、チャンネルを選局することはできます。(音声を聞くこともできます。)

バンドごとに12局までチャンネルを記憶させることができます。

「BSSM」(28P)、「手でチャンネルを記憶させる」(30P)

3

テレビをOFFにするには  を長く押す

チャンネルを順番に見る

1  を左右に倒す



順番にチャンネルが切り替わります。

 前のチャンネルを選ぶとき

 次のチャンネルを選ぶとき

手動選局（1ステップずつ）する場合は、 を左右短かめに倒します。自動選局する場合は、 をしばらく左右に倒し続けます。ボタンを離れたところから、自動選局が始まります。

チャンネルをすばやく探す
（自動選局）

1  をしばらく左右に倒し続ける



順番にチャンネルを探します。

チャンネルを順番に見る / チャンネルをすばやく探す（自動選局）

記憶されたチャンネルの呼び出ししかた

あらかじめ記憶されているチャンネルから、放送局を呼び出すことができます（プリセットチューニング）。プリセットチューニングには、ユーザープリセットから呼び出す方法とエリアプリセットから呼び出す方法の2種類があります。

メモ

本機は、TV1とTV2の2つのバンドがあり、各バンドでユーザープリセットとエリアプリセットを選ぶことができます。

便利な使い方：

ふだんお使いになっている地域のチャンネルはTV1にユーザープリセットで記憶させておきます。旅行などで受信チャンネルの異なる地域に移動したときに、TV2にエリアプリセットで記憶させます。ふだんお使いに異なるチャンネルの記憶はTV1に残ったままです。ユーザープリセットチャンネル

「BSM」（28P）および「手動でチャンネルを記憶させる」（30P）で記憶させたチャンネルです。

エリアプリセットチャンネル

ナビゲーションがあらかじめ記憶している、エリア別のチャンネルです。現在地に応じたリストが自動的に選ばれます。遠くへ出かけるときなどに使うと便利です。

エリアプリセットの収録放送局は、2002年12月時点での情報に基づいて収録されています。TV放送局の周波数（チャンネル）変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが記憶したチャンネルを呼び出すか、自車位置付近の放送局を呼び出すかを選びます。

1

エリアまたは**ユーザー**にタッチして、好みのプリセット種類を選ぶ

エリアプリセット表示



ユーザープリセット：ユーザーが記憶したチャンネルを呼び出すことができます。

エリアプリセット：自車位置付近の放送局を呼び出すことができます。

メモ

ここで選んだプリセット種類が、次回からのプリセットになります。

プリセットチャンネルを順に呼び出す

「プリセットの種類を選ぶ」で選んだプリセットから1局ずつ順に呼び出します。

1 **BAND** にタッチして、バンドを選ぶ

2  を上下に倒して、チャンネルを呼び出す

プリセットチャンネル
(エリアプリセットでは表示されません)



 前のプリセットチャンネルを呼び出すとき

 次のプリセットチャンネルを呼び出すとき

プリセットチャンネルのリストから呼び出す

ユーザープリセットチャンネルまたはエリアプリセットチャンネルのリストを表示して、そこからチャンネルを呼び出します。

1 **エリア** または **ユーザー** にタッチして、好みのプリセット種類を選ぶ

エリアプリセット表示



2 見たいチャンネルにタッチする

メモ
リスト表示されても、現地の環境や電波状況によって、受信できない場合があります。

テレビのいろいろな見かた

BSSM、BAND、音声多重、テレビ映像切替、TV音声の録音、マニュアルプリセット、AV設定、リストOFFについて説明します。

走行中、操作できない機能もあります。

メモ

PsideP表示中は選択できるタッチキーが制限されます。

BSSM

バンドごとに受信状態の良いチャンネルを12局まで、チャンネル番号の小さい順に記憶させることができます。

1

BSSMにタッチし続ける
サーチ中の画面が表示されます。



サーチ後、ユーザープリセットチャンネルが表示されます。

中止にタッチすると、BSSMを中断します。

終了するとチャンネルリストが表示されます。

メモ

- BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。
- 受信状態の良いチャンネルが12局より少ない場合は、前の記憶が残る場合があります。

BAND

本機は2つのバンド(TV1とTV2)を用意しています。バンドを切り替えることができます。現在のバンドは画面の左上に表示されます。

1

BANDにタッチする

バンド



バンドが変わります。

BANDにタッチするごとに、TV1
TV2 TV1のように変わります。

音声多重

音声多重放送（2カ国語放送）を受信しているときは、主音声（日本語）と副音声（外国語）を切り替えることができます。

メモ

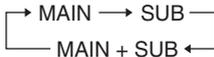
音声多重放送の場合は、一般的に主音声日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

1 多重 にタッチする



音声が変わります。

多重 にタッチするごとに、以下のように切り替わります。



MAIN	主音声（日本語）
SUB	副音声（外国語）
MAIN+SUB	主・副音声（日本語 + 外国語）

メモ

「MAIN + SUB」の場合、左側スピーカーより主音声、右側スピーカーより副音声が出力されます。

映像切替

チャンネル選択画面から直接、テレビ映像に切り替えることができます。

1 にタッチする



チャンネル選択画面が消え、テレビ映像になります。

再度チャンネル選択画面を表示させるには、テレビ映像にタッチします。

テレビ音声の録音

1  （HDD RECボタン）を押す現在受信しているテレビ音声の録音を開始します。録音された内容は、ミュージックサーバーで再生できます。

録音中の表示



録音を停止するには、再度  （HDD RECボタン）を押します。ソースを切り替えたり、エンジンスイッチをOFFにしても録音は停止しません。

手動でチャンネルを記憶させる

プリセットの種類がユーザープリセットの時のみ、バンドごとにチャンネルを12局まで、手動で記憶させることができます（マニュアルプリセット）。

手動でチャンネルを記憶させる／AV設定画面の表示／リストOFF

1  を左右に倒して記憶させたいチャンネルを選ぶ

2 記憶させたいプリセットチャンネルにしばらくタッチし続ける



現在受信中のチャンネルが、ユーザープリセットチャンネルに登録されます。

記憶させたチャンネルの呼び出しかたは、「プリセットチャンネルを順に呼び出す」(27P)、「プリセットチャンネルのリストから呼び出す」(27P)を参照してください。

AV設定画面の表示

AV設定画面を表示することができます（AV設定）。

1 **AV設定** にタッチする
AV設定画面になります。



元の画面に戻すには、**設定終了** にタッチします。

音質などを設定する 「音を調整する」(109P)

リストOFF

停車中のみ、画面を簡易表示にすることができます。

1 **リストOFF** にタッチする
画面が簡易表示になります。



通常画面に戻すには、**リストON** にタッチします。

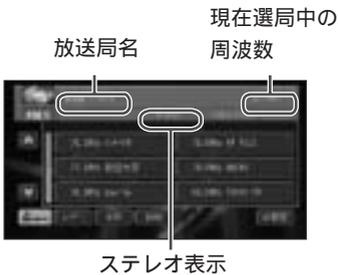
左右のチャンネルリストを表示させるには、 または  にタッチします。

ラジオの聞きかた

ラジオを聞く

ラジオを聞くには、次のようにします。

- 1**  を押して、ソースを [FM/AM] に切り替える
プリセットチャンネル選択画面が表示されます。



メモ

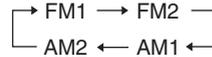
画面には、6チャンネル分のチャンネルリストが表示されます。7チャンネル目以降のチャンネルリストを表示させるには、 または  にタッチします。



- 2** **BAND** にタッチして、バンドを選ぶ
バンド



BAND にタッチすることにより、以下のようにバンドが切り替わります。



- 3** チャンネルリストの中の聞きたいチャンネルにタッチする
選択したチャンネルが受信されます。

選局する

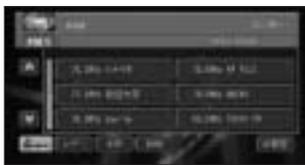
1

🕒 を左右に倒して、放送局を選局する

🕒 低い周波数を選ぶとき

🕒 高い周波数を選ぶとき

手動選局（1ステップずつ）する場合は、🕒 を左右に短めに倒します。自動選局する場合は、🕒 をしばらく左右に倒し続けます。ボタンを離れたところから、自動選局が始まります。（「SEEK」と表示されます。）



バンドごとに6局まで放送局を記憶させることができます。

「BSM」(34P)、「手動で放送局を記憶させる」(35P)

ラジオを消す

ラジオを消すには次のようにします。

1

ラジオをOFFにするには  を長く押す

記憶された放送局を呼び出す

あらかじめ記憶されている放送局から、聞きたい放送局を呼び出すことができます（プリセットチューニング）。プリセットチューニングには、ユーザープリセットから呼び出す方法とエリアプリセットから呼び出す方法の2種類があります。

メモ

本機は、FM1（AM1）とFM2（AM2）の2つのバンドがあり、各バンドでユーザープリセットとエリアプリセットを選ぶことができます。

便利な使い方：

ふだんお使いになっている地域の放送局はFM1（AM1）にユーザープリセットで記憶させておきます。旅行などで受信放送局の異なる地域に移動したときに、FM2（AM2）にエリアプリセットで記憶させます。ふだんお使いになる放送局の記憶はFM1（AM1）に残ったままです。

ユーザープリセット放送局

「ラジオのいろいろな聞きかた」、「BSM」(34P)および「手動で放送局を記憶させる」(35P)で記憶させた放送局です。

エリアプリセット放送局

ナビゲーションがあらかじめ記憶している、エリア別の放送局です。現在地に合ったリストが自動的に選ばれます。遠くへ出かけるときなどに使うと便利です。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが記憶したチャンネルを呼び出すか、自車位置付近の放送局を呼び出すかを選びます。

- 1 **エリア** または **ユーザー** にタッチして、好みのプリセット種類を選ぶ

エリアプリセット表示



メモ

ここで選んだプリセット種類が、次回からのプリセットになります。

プリセット放送局を順に呼び出す

「プリセットの種類を選ぶ」で選んだプリセットから、1局ずつ順に呼び出します。

- 1 **BAND** にタッチして、バンドを選ぶ

- 2  を上下に倒して、放送局を呼び出す



前のプリセット放送局を呼び出すとき



次のプリセット放送局を呼び出すとき

プリセット放送局のリストから呼び出す

ユーザープリセット放送局またはエリアプリセット放送局のリストを表示して、そこから放送局を呼び出します。

- 1 **エリア** または **ユーザー** にタッチして、好みのプリセット種類を選ぶ

エリアプリセット表示



- 2  を上下に倒して、聞きたい放送局を選ぶ

メモ

リスト表示されても、現在地の環境や電波状況によって、受信できない場合があります。

プリセットの種類を選ぶ / プリセット放送局を順に呼び出す / プリセット放送局のリストから呼び出す

ラジオのいろいろな聞きかた

BSM、ラジオ音声の録音、マニュアルプリセット、AV設定、リストオフについて説明します。

走行中、操作できない機能もあります。

メモ

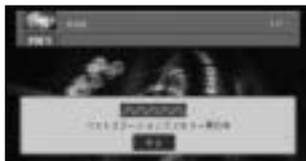
PsideP表示中は選択できるタッチキーが制限されます。

BSM

バンドごとに受信状態の良い放送局をさがして、6局まで自動的に記憶させることができます。

1

BSM にタッチし続ける
サーチ中の画面が表示されます。



サーチ後、ユーザープリセット放送局が表示されます。

中止 にタッチすると、BSMを中断します。

メモ

- BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー) の略です。
- 受信状態の良い放送局が6局より少ない場合は、前の記憶が残る場合があります。

記憶させた放送局を呼び出す 「プリセット放送局を順に呼び出す」(33P) 「プリセット放送局のリストから呼び出す」(33P)を参照してください。

ラジオ音声の録音

現在受信しているラジオ音声を録音することができます。

1

⊙ (HDD RECボタン) を押す
現在受信しているラジオ音声の録音を開始します。録音された内容は、ミュージックサーバーで再生できます。

録音中の表示



録音を停止するには、再度 ⊙ (HDD RECボタン) を押します。ソースを切り替えたり、エンジンスイッチをOFFにしても録音は停止します。

手動で放送局を記憶させる

プリセットの種類がユーザープリセットの時のみ、バンドごとに放送局を6局まで、手動で記憶させることができます(マニュアルプリセット)。

1  を左右に倒して記憶させたい放送局を選ぶ

2 記憶させたい放送局にしばらくタッチし続ける



現在受信中の放送局がユーザープリセット放送局に登録されます。

記憶させた放送局の呼び出しかた 「プリセット放送局を順に呼び出す」(33P)、「プリセット放送局のリストから呼び出す」(33P)を参照してください。

AV設定画面の表示

AV設定画面を表示することができます(AV設定)。

1 **AV設定** にタッチする
AV設定画面になります。



元の画面に戻すには、設定終了にタッチします。

音質などを設定する 「音を調整する」(109P)

リストオフ表示

画面をリストオフ表示にすることができます。

1  にタッチする
画面がリストオフ表示になります。



通常画面に戻すには、 にタッチします。

CDの聞きかた

再生する

CDを再生するには、次のようになります。

1

OPEN を押す

ディスプレイ部が開き、ディスク挿入口があらわれます。

2

ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてCDを差し込む
自動的にディスプレイ部が閉じ、再生が始まります。

ソース ディスクタイトル
アーティストネーム



トラックNo. 再生中トラック
の経過時間

内蔵のデータベースから情報が取得できた場合は、ソースプレートにディスクタイトルや再生中のトラックタイトル、アーティストが表示され、トラックタイトルのリストが表示されます。

再生中の曲

未録音の曲

メモ

- ディスクは正しい向きに差し込んでください。
- 他のソースを選択中にCDを再生したいとき、すでにCDが挿入されている場合は、 を押してCDに切り替えます。

- 内蔵のデータベースからタイトル情報を取得できなかった場合は、[No Title] と表示されます。
- ミュージックサーバーに録音されたCDを再生する場合、ミュージックサーバーで取得または編集したタイトルが表示されます。
- ミュージックサーバーの出荷時の録音モードは「オート」です。再生したCDは、自動的にミュージックサーバーに録音されます。
- 2倍速録音中は音声は聞けません。
- 曲間(トラック間)にブランクがないCDを再生すると、ミュージックサーバーに録音している場合のみ、曲間が音飛びしたように再生されますが、故障ではありません。
- 画面には、8曲分の曲リストが表示されます。9曲目以降の曲リストを表示させるには、 または にタッチします。

3

曲リストの中の聴きたい曲にタッチする

前の曲を選ぶとき

次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、 をしばらく左に倒し続けます。

早送りする場合は、 をしばらく右に倒し続けます。

再生を停止する

CDの再生を停止するには、次のようにします。

1

を押して他のソースに切り替えるか、 を長く押す
CDの再生が停止します。

CDのいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキラン再生、ポーズ、AV設定、リストオフについて説明します。

メモ

PsideP表示中は選択できるタッチキーが制限されます。

リピート再生

再生中の曲を繰り返し聞くことができます。

1 **リピート** にタッチする



リピートを取り消すには、再度**リピート**にタッチします。

メモ

リピート再生中に以下の操作を行うと、リピート再生が中止されます。

- ランダム再生
- スキラン再生
- トラックリストからの選曲による再生
- トラックアップ/トラックダウン
- 早送り/早戻し

ランダム再生

再生中のCDを、曲順を変えて再生することができます。

1 **ランダム** にタッチする



ランダムを取り消すには、再度**ランダム**にタッチします。

メモ

ランダム再生中に以下の操作を行うと、ランダム再生が中止されます。

- リピート再生
- スキラン再生
- トラックリストからの選曲による再生

スキャン再生

曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます。聞きたい曲を探すときに使います。

1

スキャン にタッチする



曲の始めをスキャンします。
スキャンを取り消すには、再度**スキャン**にタッチします。

メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

2

聴きたい曲が再生されたら、**スキャン** にタッチする

メモ

スキャン再生中に以下の操作を行うと、スキャン再生が中止されます。

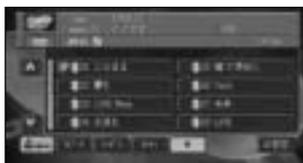
- トラックリストからの選曲による再生
- トラックアップ/トラックダウン
- 早送り/早戻し
- ソースの切り替え
- 電源OFF (エンジンOFF)

再生を一時停止する

CDの再生を一時停止します (ポーズ)。

1

ポーズ にタッチする



ポーズを取り消すには、再度**ポーズ**にタッチします。

メモ

ポーズ中に以下の操作を行うと、ポーズが解除されます。

- ソースの切り替え
- 電源OFF (エンジンOFF)

AV設定画面の表示

AV設定画面を表示することができます (AV設定)。

- 1 **AV設定** にタッチする
AV設定画面になります。



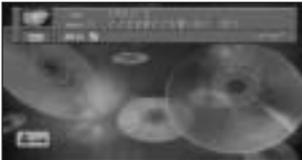
元の画面に戻すには、**設定終了** にタッチします。

音質などを設定する 「音を調整する」
(109P)

リストオフ表示

画面をリストオフ表示にすることができます。

- 1  にタッチする
画面がリストオフ表示になります。



通常画面に戻すには、 にタッチします。

MP3ディスクの聞きかた

再生できるMP3ファイルについては、「MP3ファイルについて」(128P)を参照してください。

再生する

CD-ROM/R/RWに記録されたMP3ファイルを再生するには、次のようにします。

再生する

1

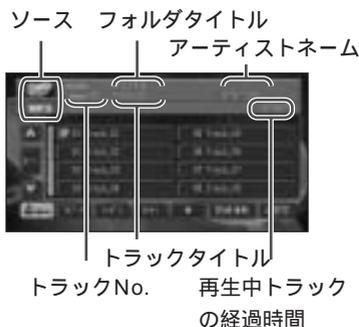
OPEN を押す

ディスプレイ部が開き、ディスク挿入部があらわれます。

2

ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてCD-ROM/R/RWを差し込む

自動的にディスプレイ部が閉じ、再生が始まります。



ID3 Tag (132P) からタイトル情報を取得できた場合は、ソースプレートにディスクタイトルや再生中のトラックタイトル、アーティストが表示され、トラックタイトルリストには、ファイル名およびフォルダ名が表示されます。



再生中の曲

メモ

- 他のソースを選択中にMP3ファイルを再生したいとき、すでにMP3ファイルが記録されたCD-ROM/R/RWが挿入されている場合は、**MP3** を押してMP3に切り替えます。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- タイトル情報を取得できなかった場合は、MP3のフォルダ名がディスクタイトル、ファイル名がトラックタイトルとしてソースプレートに表示されます。アーティストは表示されません。
- トラックタイトルリストは、ID3 Tag (132P) のタイトル情報に関係なく、フォルダ名およびファイル名のリストになります。(ファイル名、フォルダ名が順番に表示されます。)
- フォルダに番号は付きません。フォルダマークが表示されます。
- 再生できないMP3ファイルだけのフォルダもリスト表示されます。MP3ファイルを含まないフォルダは表示されません。

- **詳細情報** にタッチすると、トラックタイトルリストの表示が「詳細表示」に切り替わります。リスト表示に戻るには **戻る** にタッチします。

3

曲リストの中の聞きたい曲にタッチする



前の曲を選ぶとき



次の曲を選ぶとき



前のフォルダを選ぶとき



次のフォルダを選ぶとき

早戻しする場合は、 をしばらく左に倒し続けます。

早送りする場合は、 をしばらく右に倒し続けます。

メモ

フォルダ内の曲を再生するには、フォルダにタッチし、曲リストが表示されたら聞きたい曲を選んでタッチします。

再生を停止する

MP3のディスクの再生を停止するには、次のようにします。

1



を押して他のソースに切り替えるか、 を長く押す

MP3ディスクの再生が停止します。

MP3ディスクのいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生、ポーズ、詳細情報、AV設定、リストオフについて説明します。

メモ

PsideP表示中は選択できるタッチキーが制限されます。

リピート再生

再生中の曲を繰り返し聞くことができます。

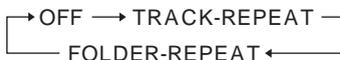
1

リピート にタッチする

リピート再生中の表示



リピート にタッチするごとに、次のように切り替わります。



「TRACK- 現在再生中の曲をリ REPEAT」ビートする

「FOLDER- 現在再生中のフォルダ REPEAT」内をリピートする

「OFF」 現在再生中のディスク 全体をリピートする

メモ

リピート再生中に以下の操作を行うと、リピート再生が中止されます。

- ランダム再生
- スキャン再生
- トラックリストからの選曲による再生
- フォルダの切り替え
- トラックアップ/トラックダウン (「TRACK-REPEAT」選択時のみ)

ランダム再生

再生中のMP3ファイルを、曲順を変えて再生することができます。

1

ランダム にタッチする

ランダム再生中の表示



ランダム にタッチするごとに、次のように切り替わります。



「FOLDER- 現在再生中のフォルダ RANDOM」内をランダムに再生する

「DISC- 現在再生中のディスク RANDOM」内をランダムに再生する

「OFF」 ランダムを取り消す

メモ

- 「FOLDER RANDOM」は、再生中のフォルダ内の曲だけを再生します。他のフォルダ内にあるフォルダの曲は再生しません。
- ランダム再生中に以下の操作を行うと、ランダム再生が中止されます。
 - リピート再生
 - スキャン再生
 - トラックリストからの選曲による再生
 - フォルダの切り替え（「FOLDER RANDOM」選択時のみ）

3

聞きたい曲が再生されたら、再生中の曲名にタッチする

メモ

スキャン再生中に以下の操作を行うと、スキャン再生が中止されます。

- リピート再生
- ランダム再生
- トラックリストからの選曲による再生
- トラックアップ/トラックダウン
- 早送り/早戻し
- フォルダの切り替え
- ソースの切り替え
- 電源OFF（エンジンOFF）

スキャン再生

曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます。
聞きたい曲を探すときに使います。

1

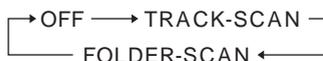
スキャンにタッチする

スキャン再生中の表示

**2**

曲の始めをスキャンします。

スキャンにタッチすることにより、次のように切り替わります。



「TRACK- 現在再生中のフォルダ
SCAN」 内をスキャンする

「FOLDER-各フォルダの先頭トラ
SCAN」 ックをスキャンする

「OFF」 スキャンを取り消す

メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

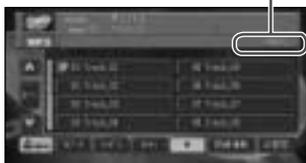
再生を一時停止する

MP3の再生を一時停止します（ポーズ）。

1

■ にタッチする

ポーズ中の表示



ポーズを取り消すには、再度■ にタッチします。

メモ

ポーズ中に以下の操作を行うと、ポーズが解除されます。

- トラックリストからの選曲
- ソースの切り替え
- 電源OFF（エンジンOFF）

詳細情報を見る

現在再生中の曲の詳細情報を見ることができます。

1

■ にタッチする

ID3タグ情報がある場合には、現在再生中の曲の詳細情報（トラック名、アーティスト名、ジャンル、発売年、録音時間、作成日）が表示されます。



元に戻すには、■ にタッチします。

AV設定画面の表示

AV設定画面を表示することができます（AV設定）。

- 1 **AV設定** にタッチする
AV設定画面になります。



元の画面に戻すには、**設定終了** にタッチします。

音質などを設定する 「音を調整する」
(109P)

リストオフ表示

画面をリストオフ表示にすることができます。

- 1  にタッチする
画面がリストオフ表示になります。



通常画面に戻すには、 にタッチします。

MDの聞きかた

再生する

MDを再生には、次のようにします。

1

OPEN を押す

ディスプレイ部が開き、ディスク挿入口があらわれます。

2

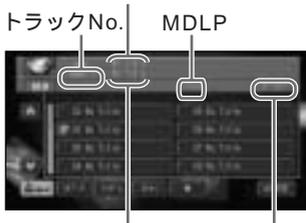
ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてMDを差し込む

自動的にディスプレイ部が閉じ、再生が始まります。

メモ

- ディスクを正しい向きで差し込んでください。
- MD挿入口にはMD以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- MDシャッターが閉まっているか確認してから挿入してください。

ディスクタイトル



トラックタイトル 再生中トラックの経過時間

メモ

- 画面には、8曲分の曲リストが表示されます。9曲目以降の曲リストを表示させるには、**[F1]** または **[F2]** にタッチします。
- タイトルは、全角16文字（半角32文字）の表示ができます。（ただし、半角、全角の混在はできません。）
- タイトルが記憶されていない場合は、[No Title] と表示されます。
- 一部、表示できない文字があります。

3

曲リストの中の聴きたい曲にタッチする

[◀] 前の曲を選ぶとき

[▶] 次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、**[◀]** をしばらく左に倒し続けます。

早送りする場合は、**[▶]** をしばらく右に倒し続けます。

再生を停止する

MDの再生を停止するには、次のようにします。

1

[SRC] を押して他のソースに切り替えるか、**[SRC]** を長く押す
MDの再生が停止します。

MDのいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生、ポーズ、MD音声の録音、AV設定、リストオフについて説明します。

メモ

PsideP表示中は選択できるタッチキーが制限されます。

リピート再生

再生中の曲を繰り返し聞くことができます。

1

リピートにタッチする



リピートを取り消すには、再度**リピート**にタッチします。

メモ

リピート再生中に以下の操作を行うと、リピート再生が中止されます。

- ランダム再生
- スキャン再生
- トラックリストからの選曲による再生
- トラックアップ/トラックダウン
- 早送り/早戻し

ランダム再生

現在再生中のMDを、いつもと違う曲順で再生することができます。

1

ランダムにタッチする



ランダムを取り消すには、再度**ランダム**にタッチします。

メモ

ランダム再生中に以下の操作を行うと、ランダム再生が中止されます。

- リピート再生
- スキャン再生
- トラックリストからの選曲による再生

スキャン再生

曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます。

1

スキャンにタッチする



スキャンを取り消すには、再度**スキャン**にタッチします。

メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

つづく→

2 聴きたい曲が再生されたら、**スキャン**にタッチする

メモ

スキャン再生中に以下の操作を行うと、スキャン再生が中止されます。

- トラックリストからの選曲による再生
- トラックアップ/トラックダウン
- 早送り/早戻し
- ソースの切り替え
- 電源OFF (エンジンOFF)

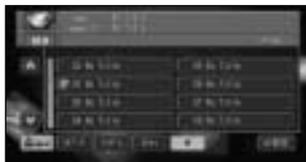


録音を停止するには、再度 **◎** (HDD RECボタン) を押します。ソースを切り替えたり、エンジンスイッチをOFFにしても録音は停止し
ます。

再生を一時停止する

MDの再生を一時停止します (ポーズ)

1 **■**にタッチする



ポーズを取り消すには、再度 **■** にタッチします。

メモ

ポーズ中に以下の操作を行うと、ポーズが解除されます。

- トラックリストからの選曲
- ソースの切り替え
- 電源OFF (エンジンOFF)

MD音声の録音

現在再生中の曲を録音することができます。

1 **◎** (HDD RECボタン) を押す

現在再生している曲の録音を開始します。録音された内容は、ミュージックサーバーで再生できます。

AV設定画面の表示

AV設定画面を表示することができます (AV設定)。

1 **AV設定**にタッチする

AV設定画面になります。



元の画面に戻すには、**設定終了** にタッチします。

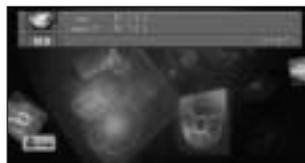
音質などを設定する 「音を調整する」 (109P)

リストオフ表示

画面をリストオフ表示にすることができます。

1 **☰**にタッチする

画面がリストオフ表示になります。



通常画面に戻すには、**☰** にタッチします。

交通情報の聞きかた

交通情報の受信周波数 AM1,620 kHz、1,629kHzを簡単に受信することができます。

メモ

この機能は、ソースがOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

1

TI を押す

交通情報画面が表示されます。
前回聞いた周波数の交通情報を受信します。

受信周波数



2

🔄 を左右に倒して周波数を切り替える

- 🔄 1.620kHzにするとき
- 🔄 1.629kHzにするとき

3

もう一度 **TI** を押して、交通情報の受信をやめる

交通情報を受信する前のソースに戻ります。

メモ

- 交通情報を受信しているときに、音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。別のソースに切り替えて音量を調節しても、次に交通情報を受信するときは、前回設定した音量で聞くことができます。
- 交通情報を受信しているときは [AV設定] を選ぶことはできません。

交通情報を録音する

現在受信している交通情報を録音することができます。

1

⊙ (HDD RECボタン) を押す
現在受信している交通情報の録音を開始します。録音された内容は、ミュージックサーバーで再生することができます。



録音を停止するには、再度 ⊙ (HDD RECボタン) を押します。ソースを切り替えたり、エンジンスイッチをOFFにしても録音は停止します。

DVDの見かた

再生する

DVDを再生するには、次のようになります。

1

OPEN を押す

ディスプレイ部が開き、ディスク挿入口があらわれます。

2

ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてDVDビデオディスクを差し込む

自動的にディスプレイ部が閉じ、再生が始まります。

メモ

- 両面仕様のDVDビデオディスクの場合は、A/B面をよくお確かめのうえディスクを挿入してください。
- 再生中に  にタッチすると、一時停止します。
- ナビゲーションの画面からDVDの画面に切り替えるには、 を押します。
- 他のソースを選択中にDVDを再生したいとき、すでにDVDビデオディスクが挿入されている場合は、 を押してソースをDVDに切り替えます。
- DVDの録音レベルは他のソースより低いため、他のソースからDVDに切り替えると、音が小さく感じられます。
- ディスクによっては、メニュー画面が表示されるものがあります。

次項の「メニュー画面の操作」

タイトルを進める / 戻す

1



を下側 / 上側に倒す
タイトルが順に送られます。

チャプターを進める / 戻す

1



を右側 / 左側に倒す
チャプターが順に送られます。

メニュー画面の操作

メモ

表示されるメニューや操作方法は、ディスクによって異なります。

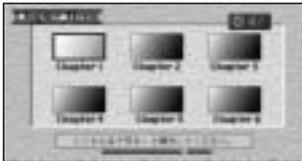
- 1 再生中に画面にタッチする
操作タッチキーが表示されます。

- 2 **トップメニュー** または **メニュー** にタッチする
メニュー画面が表示されます。

[トップ トップメニューを表示
メニュー] する

[メニュー] ルートメニューがある
場合はルートメニュー
を、ルートメニューが
ない場合はトップメ
ニューを表示する

チャプターメニューが表示された画面例



- 3  を上下左右に倒してチャプターを選ぶ



- 4  を押す
選んだチャプターから再生されます。

見たい場面をダイレクトに選ぶ

タイトル、チャプターまたは時間を指定して見たい場面を選んで再生することができます (ダイレクトサーチ)。

- 1 再生中に画面にタッチする
操作タッチキーが表示されます。

- 2  にタッチする
2ページ目の操作タッチキーが表示されます。

メモ

前ページに戻るには  にタッチします。

- 3 **10キーサーチ** にタッチする



10キー画面が表示されます。

- 4 **TITLE**、**CHAPTER**、**TIME**、**10キーサーチ** のいずれかにタッチする



5

番号を10キーで選ぶ

TITLE 見たい場面のタイトル番号を入力します。入力数は2桁です。
 入力例：タイトル番号4を検索する場合 **04** にタッチする

CHAPTER 見たい場面のチャプター番号を入力します。入力数は2桁です。
 入力例：チャプター番号6を検索する場合 **06** にタッチする

TIME 見たい場面の時間をを入力します。入力数は5桁です。
 入力例：1時間20分00秒（80分00秒）の場面を検索する場合 **08000** にタッチする

10キーモード 数字のコマンドを入力します。入力数は3桁です。
 入力例：**012**

メモ

収録されていないタイトル番号、チャプター番号、時間などを入力した場合は （禁止マーク）が表示され、検索できないことがあります。また、ディスクによっては収録されていても検索できない場合があります。

6

決定にタッチする

指定した場面から再生を始めます。

早送り / 早戻しをする

1

再生中に  をしばらく右側または左側に倒す

（早送りマーク）/（早戻しマーク）が表示され、ディスクを早送り/早戻しします。

 を倒す時間によって、速度を調整できます。

倒してすぐ 低速で早送り/早戻しに戻す

4秒以上倒す ボタンから手を離しても高速の早送り/早戻しが継続する（見たい場所で  にタッチすると、その場所から再生される）

メモ

ディスクによって、早送り/早戻しできない場所があり、その場所になると自動的に通常の再生になります。

再生を停止する

- 1 再生中に画面にタッチする
操作タッチキーが表示されます。

- 2  にタッチする



メモ

- 再生を停止した場所が記憶され、次にディスクを再生したときは前回の続きから再生されます。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、停止できないことがあります。

DVDのいろいろな再生のしかた

静止画再生、コマ送り再生、スロー再生、リピート再生、音声・字幕・アングルの切り替え、リターン再生、AV設定について説明します。

メモ

PsideP表示中は選択できるタッチキーが制限されます。

静止画再生

1 再生中に画面にタッチする
操作タッチキーが表示されます。

2  にタッチする



メモ

- 静止画再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、静止画再生できない場合があります。
-  にタッチしても一時停止します。

通常の再生に戻すには
もう一度  にタッチします。

コマ送り再生

1 再生中に画面にタッチする
操作タッチキーが表示されます。

2  にタッチする
映像が一時停止します。

3  にタッチする
タッチするごとに、映像が1コマずつ送られます。

メモ

- コマ送り再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、コマ送り再生できないことがあります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。

通常の再生に戻すには
 にタッチします。

スロー再生

1 再生中に画面にタッチする
操作タッチキーが表示されます。

2  にタッチする
映像が一時停止します。

3  にタッチし続ける
送り方向にスロー再生されます。



メモ

- スロー再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク)が表示され、スロー再生できない場合があります。
- ディスクによっては、スロー再生時に映像が乱れることがあります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。

通常の再生に戻すには

 にタッチします。

リピート再生

1 再生中に画面にタッチする
操作タッチキーが表示されます。

2 **リピート** にタッチする



リピート にタッチするごとに、次のように切り替わります。



「CHAPTER- 現在再生中のチャプ
REPEAT」 ターをリピートする

「TITLE- 現在再生中のタイトル
REPEAT」 をリピートする

「OFF」 リピートしない

メモ

- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。

音声を切り替える

音声複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り替えることができます(マルチ音声)。

1 再生中に画面にタッチする
操作タッチキーが表示されます。

2  にタッチする
2ページ目の操作タッチキーが表示されます。

メモ

前ページに戻るには  にタッチします。



3 **音声** にタッチして、音声を切り替える

音声 にタッチするごとに、音声切り替わります。

メモ

- DVDのパッケージについているⓂマークの数字が、音声の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているメニュー画面でしか切り替えることができない場合があります。
- DTS音声は、デジタル出力のみ対応しています。本機のデジタル出力を接続していない場合、DTS音声は出力されませんので、DTS以外の音声を選んでください。
- 「Dolby D」や「5.1ch」などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

- ディスクまたは再生位置によっては、Ⓧ(禁止マーク)が表示され、音声言語を切り替えることができない場合があります。

字幕を切り替える

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り替えることができます(マルチ字幕)。

1 再生中に画面にタッチする
操作タッチキーが表示されます。

2  にタッチする
2ページ目の操作タッチキーが表示されます。

メモ

前ページに戻るには  にタッチします。



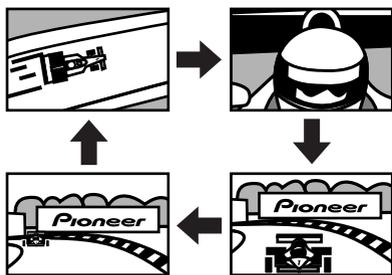
3 **字幕** にタッチして、字幕を切り替える

メモ

- DVDパッケージについているⓂマークの数字が、字幕の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているメニュー画面でしか切り替えることができない場合があります。
- ディスクまたは再生位置によっては、Ⓧ(禁止マーク)が表示され、字幕言語を切り替えることができない場合があります。

アングルを切り替える

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り替えることができます(マルチアングル)。



メモ

マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。

1 再生中に画面にタッチする
操作タッチキーが表示されます。

2  にタッチする
2ページ目の操作タッチキーが表示されます。

メモ

前ページに戻るには  にタッチします。

3 マルチアングルが収録されている場面を再生中に **アングル** にタッチする



4

アングル にタッチして、アングルを切り替える

アングル選択マークとアングル番号が表示されている間は、アングル切り替えができます。

メモ

- DVDパッケージについている  マークの数字が、アングルの収録数です。
- 早送り/早戻し中、スロー再生中、一時停止中に **アングル** にタッチすると、早送り/早戻し、スロー再生、または一時停止を解除して通常再生に戻りますが、アングルは切り替わりません。
- アングル選択マークの表示のON/OFFは、初期設定メニューの「マルチアングル」で行います。
「アングル選択マークの表示/非表示を設定する」(62P)

ディスクに指定された位置まで戻って見る

ディスクに指定された位置まで戻って再生することができます。(リターン再生)

1 再生中に画面にタッチする
操作タッチキーが表示されます。

2  にタッチする
2ページ目の操作タッチキーが表示されます。

メモ
前ページに戻るには  にタッチします。

3 **リターン** にタッチする
ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。



メモ
この機能は、ディスクに戻る位置の指定が収録されている場合のみ有効です。

AV設定画面の表示

AV設定画面を表示することができます (AV設定)。

1 再生中に画面にタッチする
操作タッチキーが表示されます。

2  にタッチする
2ページ目の操作タッチキーが表示されます。

メモ
前ページに戻るには  にタッチします。

3 **AV設定** にタッチする
AV設定画面になります。



元の画面に戻すには、**設定終了** にタッチします。

DVDの初期設定を行う 「初期設定をする」
(59P)
音場と音質の調整 「音の幅を設定をする」
(124P)

コンディションメモリーについて

音声や字幕などを切り替えると、それらの設定はディスクごとに本機のコンディションメモリーに記憶されます(最大30枚)。設定が記憶されていれば、前回再生時の設定内容(例えば、英語音声/日本語字幕など)で再生されます。

- メモ**
- 記憶できる内容は、音声言語、字幕言語、アングル番号、テレビアスペクト(画面の縦横比)、音声出力(L/R)です。
 - ディスクによっては、コンディションメモリーに記憶されない場合があります。(音声言語や字幕言語は、ディスクで指定された設定になります。)
 - ディスクの設定が30枚を超えて記憶されるときは、古い設定から順に削除されます。

初期設定をする

DVD機能をあらかじめお好みの状態にしておくと、ディスクを再生するたびに設定を変える煩わしさがありません。

初期設定できる項目は、以下のとおりです。

- 基本字幕言語
- 基本音声言語
- メニュー言語
- アシスト字幕の表示 / 非表示
- アンクル選択マークの表示 / 非表示
- テレビアスペクト（画面の縦横比）
- 視聴制限（パレンタルロック）

初期設定メニューの表示のしかた

1 再生中に画面にタッチする
操作タッチキーが表示されます。

2  にタッチする
2ページ目の操作タッチキーが表示
されます。

メモ

前ページに戻るには  にタッチ
します。

3 **AV設定** にタッチする
AV設定画面が表示されます。



4

DVD初期設定 にタッチする
DVD初期設定メニューの画面が表示
されます。



メモ

- 元の画面に戻るには、初期設定メニュー表示中に **設定終了** にタッチ
します。
- 上下のメニューを表示するには、 または  にタッチし
ます。
- 初期設定メニューは、設定項目ご
とに画面が切り替わります。別の
項目を設定する場合は、**戻る** に
タッチして、1つ前の画面に戻り
ます。

字幕言語を設定する

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます(マルチ字幕)。

メモ

出荷時の設定は「日本語」です。

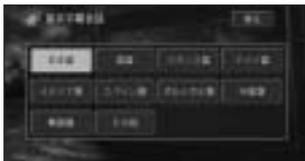
1

DVD初期設定メニューを表示する

「初期設定メニューの表示のしかた」(前ページ)

2

基本字幕言語にタッチする
基本字幕設定画面が表示されます。



3

字幕として優先したい言語を選んでタッチする
字幕言語が設定されます。



メモ

- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている字幕言語が表示されます。
- この設定にかかわらず、再生中に画面にタッチして、をタッチして表示される**字幕**で字幕言語を切り替えることができます。

「その他」を選んだ場合
言語のコード入力画面が表示され
ます。「言語コード表」(130P)より、
4桁の言語コードを画面の数字を
選んで入力して、**決定**にタッチし
ます。



メモ

入力した番号を削除するには、**削除**
にタッチします。

音声言語を設定する

優先して聞きたい音声の言語を設定
することができます(マルチ音声)。

メモ

出荷時の設定は「日本語」です。

1

DVD初期設定メニューを表示
する

「初期設定メニューの表示のしか
た」(前ページ)

2

基本音声言語にタッチする
基本音声設定画面が表示されます。



- 3** 音声として優先したい言語にタッチする
音声言語が設定されます。



メモ

- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている音声言語が聞こえます。
- この設定にかかわらず、再生中に画面にタッチして、**▶** にタッチして表示される**音声**で音声言語を切り替えることができます。

「その他」を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」(130P)より、4桁の言語コードを画面の数字を選んで入力して、**決定**にタッチします。



メモ

入力した番号を削除するには、**削除**にタッチします。

メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニュー画面の言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。

メモ

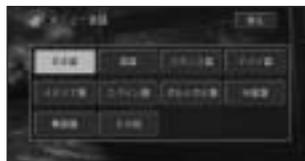
出荷時の設定は「日本語」です。

- 1** DVD初期設定メニューを表示する

「初期設定メニューの表示のしかた」(59P)

- 2** **メニュー - 言語** にタッチする

メニュー言語設定画面が表示されます。



- 3** メニュー - 言語として優先したい言語にタッチする

メニュー言語が設定されます。



メモ

選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が表示されます。

「その他」を選んだ場合
言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」(130P)より、4桁の言語コードを画面の数字を選んで入力して、**決定**にタッチします。



メモ

入力した番号を削除するには、**削除**にタッチします。

アシスト字幕の表示 / 非表示を設定する

メモ

- 出荷時の設定は、「表示」です。
- アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕は、ディスクに収録されている場合のみ表示することができます。

1 DVD初期設定メニューを表示する

「初期設定メニューの表示のしかた」(59P)

2 **アシスト字幕**にタッチする
アシスト字幕設定画面が表示されます。



3 **表示** または **非表示** を選んでタッチする

アシスト字幕の表示 / 非表示が設定されます。



アングル選択マークの表示 / 非表示を設定する

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示 / 非表示を設定することができます。

メモ

- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されているディスクに対して有効です。
- 出荷時の設定は「表示」（アングル選択マークを表示する）です。

1 DVD初期設定メニューを表示する

「初期設定メニューの表示のしかた」(59P)

2 **マルチアングル** にタッチする
アングル設定画面が表示されます。現在設定されている項目は、水色で表示されます。



3 **表示** または **非表示** を選んでタッチする

暗証番号と視聴制限レベルの設定

1 DVD初期設定メニューを表示する

「初期設定メニューの表示のしかた」(59P)

2 **視聴制限** にタッチする

視聴制限設定画面が表示されます。



3 画面の数字で、4桁の暗証番号を入力する



設定した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをお勧めします。

4 **決定** にタッチする

暗証番号が設定され、視聴制限レベルの設定が可能になります。

5 画面の数字でレベルを選ぶ

レベル8 ディスクをすべて再生する

レベル7~2 成人向けディスクの再生を禁止する(子供向けや一般向けディスクを再生する)

レベル1 子供向けのディスクのみ再生する



視聴制限のレベルが設定されます。

レベルを変更する

設定した視聴制限のレベルは変更することができます。

1 DVD初期設定メニューを表示する

「初期設定メニューの表示のしかた」(59P)

2 **視聴制限** にタッチする

視聴制限設定画面が表示されます。



3 画面の数字で、登録してある暗証番号を入力する



4

決定 にタッチする

視聴制限レベルの変更が可能になります。

メモ

入力した暗証番号が間違っていると、[暗証番号が正しくありません]と表示されます。この場合は、**削除** にタッチして、正しい番号を入力し直してください。

暗証番号を忘れた場合は、次項の「暗証番号を忘れたときは」を参照してください。

5

画面の数字で、レベルを選ぶ
変更した視聴制限のレベルが設定されます。



暗証番号を忘れたときは

「レベルを変更する」の手順3で **削除** に10回タッチすると、暗証番号が解除されます。その後、手順3～4に従い、新しい暗証番号を設定します。

テレビアスペクト(画面の縦横比)を設定する

メモ

出荷時の設定は「16:9」です。

1

DVD初期設定メニューを表示する

「初期設定メニューの表示のしかた」(59P)

2

テレビアスペクト にタッチする
テレビアスペクト設定画面が表示されます。現在設定されているテレビアスペクトは、水色で表示されます。



3 希望のテレビアスペクトを選んでタッチする

「16:9」 ワイドモニター（16:9）使用時に選びます。16:9で収録された画像が16:9で表示されます。

「レターボックス」 ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16:9で収録された画像の横巾を4:3モニターの横巾に合わせて16:9の比率で表示します。

「パンスキャン」 ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16:9で収録された画像の縦巾を4:3モニターの縦巾に合わせて16:9の比率で表示します（左右にはみ出た映像は表示されません）。

4 決定にタッチする

選んだテレビアスペクトが設定されます。

メモ

- 本機のモニターはワイドモニターですので、通常は16:9に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。

- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、**パンスキャン**に設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで **16:9 PS** マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

視聴制限を設定する

ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面に視聴制限をかけることができます（パレンタルロック）。

- 最初にご使用になるときは、暗証番号を設定してください。視聴制限は、暗証番号が設定されないと操作できません。
- 出荷時の設定は「レベル8」です。
- 視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合は、正しい暗証番号を入力しないと再生できません。暗証番号の入力画面を解除するには、**戻る**にタッチしてください。
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルは、ディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみ飛ばして再生するものがあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

ミュージックサーバーとは

CDやアナログソース（テレビ、FM/AM、MD、交通情報、VTRなどの音源）を本機のハードディスクに録音して、いろいろな方法で再生できる機能です。

ミュージックサーバーには、さらに次の機能があります。

- PCカード内のMP3ファイルの再生
- 録音時に自動作成されるオリジナルプレイリストによる再生
- お好みで作成できるユーザープレイリストによる再生
- ヒットチャート情報をベースにしたプレイリストを自動作成。年のヒット曲を再生

メモ

- CDを録音する方法は選択できます。
「CD録音モードを設定する」(76P)
- オリジナルプレイリストとユーザープレイリストは、リスト名の頭に付くアイコンで確認できます。

オリジナル プレイリスト	プレイリスト名の頭に  (「Original」の頭文字)が表示される
-----------------	---

ユーザー プレイリスト	プレイリスト名の頭に  (「User」の頭文字)が表示される
----------------	--

- DVDの音声は録音できません。
- CDなどをデジタル録音した記録媒体（CD-R、PCカードなど）から、ミュージックサーバーに録音（コピー）することはできません。また、ミュージックサーバーからPCカードにコピーすることはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム（SCMS）の働きによるものです。
- ユーザープレイリストを作成することができます。
「プレイリストを新規に作成する」(82P)
- テレビ、ビデオは音声のみ録音することができます。

ミュージックサーバーの聞きかた

再生できるPCカード内のMP3ファイルについては、「MP3ファイルについて」(128P)を参照してください。

メモ

- 全てのプレイリストを繰り返し再生します。(小さい番号のプレイリストより順に再生され最後のプレイリストの再生が終わると、最初のプレイリストに戻り、再生を始める。)
- 再生順序の変更やプレイリストごとに再生するかどうかを設定することができます。

「プレイリストの再生順番を変更する」(87P)「再生しないプレイリストを設定する」(89P)

- CDを録音中にミュージックサーバーに切り替えても、ミュージックサーバーは再生できません。CDの音声をお楽しみください。(2倍速録音中は、音声は出力されません。)

再生する

登録されている全プレイリスト内の曲、または音声再生されます。

1  を押して、ミュージックサーバーに切り替える

プレイリストNo.
ソース プレイリストアーティスト名
タイトル



タイトルNo. 再生中トラックの経過時間

再生する

2 を上下左右に倒して、聞きたい曲を選ぶ

-  前のプレイリストを選ぶとき
-  次のプレイリストを選ぶとき
-  プレイリスト内で前の曲を選ぶとき
-  プレイリスト内で次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、 をしばらく左に倒し続けます。

早送りする場合は、 をしばらく右に倒し続けます。

PCカード内のMP3ファイルについて

- フォルダがたくさんあるPCカードは、再生が始まるまで時間がかかります。
- プレイリストの最後に「PC-CARD」が表示されます。
- 各ファイルが複数のフォルダに保存されていても、フォルダおよびフォルダごとのファイルの表示はできません。
- ID3 Tag (132P) からタイトル情報を取得できた場合は、ソースプレートにトラックタイトルが表示されます。取得できなかった場合は、ファイル名が表示されます。
- 再生中にPCカードを抜くとハードディスク内の先頭のプレイリストを再生します。ハードディスク内にプレイリストがない場合は、再生が停止します。
- 再生の順番はMP3ファイルの作成日時の古い順になります。パソコンでPCカードに複数のファイルをまとめてコピーしたり、フォルダごとコピーした場合は、パソコンのファイルシステムに依存します。

再生を停止する

ミュージックサーバーの再生を停止するには、次のようにします。

- 1  を押して他のソースに切り替えるか、 を長く押す
ミュージックサーバーの再生が停止します。

リストから聞きたいプレイリストまたは曲を探す

リストから聞きたいプレイリストまたは曲を選択して再生することができます。

- 1  を押して、ソースを [ミュージックサーバー] に切り替える

- 2 聴きたい曲が登録されているプレイリストにタッチする



メモ

再生不許可が設定されているプレイリストには、 が表示されます。
「再生しないプレイリストを設定する」(89P)

- 3 **リスト切替** にタッチする
プレイリスト内の8曲分が表示されます。



9曲目以降の曲リストを表示させるには、 にタッチします。

- 4 聴きたい曲にタッチする
選んだ曲が再生され、再生中の曲に、 が表示されます。

リストオフ表示

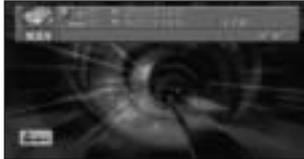
画面をリストオフ表示にすることができます。

1



にタッチする

画面がリストオフ表示になります。



通常画面に戻すには、 にタッチします。

メモ



を長く押して、画面を背景だけにすることもできます（プレイリスト名、アーティスト名のみ画面右下に表示されます）。通常画面に戻すには、画面にタッチします。

詳細情報を表示する

プレイリストの詳細情報（タイトル、よみ、アーティスト、ジャンルなど）を表示することができます（詳細情報）。

1

詳細情報 にタッチする



元の画面に戻すには、**戻る** にタッチします。

ミュージックサーバーのいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生、再生の一時停止、ヒットチャート再生について説明します。

メモ

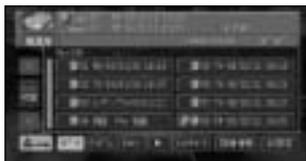
PsideP表示中は選択できるタッチキーが制限されます。

- リピート再生中に以下の操作を行うと、リピート再生が中止されます。
 - ランダム再生
 - スキャン再生
 - プレイリストからの選曲による再生
 - プレイリストの切り替え
 - トラックアップ/トラックダウン(「TRACK-REPEAT」選択時のみ)

リピート再生

再生中の曲、またはその曲を含むプレイリスト内のすべての曲を繰り返して聞くことができます。

1 **リピート** にタッチする



リピート にタッチするごとに、次のように切り替わります。



「TRACK-REPEAT」 現在再生中の曲をリピートする

「PLAYLIST-REPEAT」 現在再生中のプレイリストをリピートする

「OFF」 リピートを取り消す

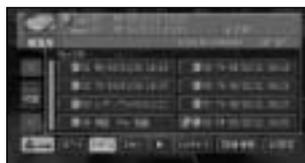
メモ

- ヒットチャート再生中は、ヒットチャートをプレイリストとしたリピート再生(CHART-REPEAT)をします。

ランダム再生

再生中のプレイリスト内の曲順、またはプレイリストの順番とリスト内の曲順を変えて再生することができます。

1 **ランダム** にタッチする



ランダム にタッチするごとに、次のように切り替わります。



「PLAYLIST-RANDOM」 再生中のプレイリスト内からランダム再生される(他のプレイリストは選ばれない)

「ALL-RANDOM」 本機のハードディスクに録音されているすべての曲がランダムに再生する。

「OFF」 ランダム再生を取り消す

メモ

- ヒットチャート再生中はヒットチャートをプレイリストとしたランダム再生(CHART-RANDOM)を行うため、「ALL-RANDOM」には切り替わりません。
- ランダム再生中に以下の操作を行うと、ランダム再生が中止されます。
 - リピート再生
 - スキャン再生
 - プレイリストからの選曲による再生
 - プレイリストの切り替え

スキャン再生

再生中のプレイリスト内の曲、または全プレイリスト内の先頭曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます。聞きたい曲を探すときに使います。

1 スキャンにタッチする

スキャンにタッチすることにより、次のように切り替わります。



「TRACK-SCAN」	現在再生中のプレイリストの全曲の始めの部分を再生する
「PLAYLIST-SCAN」	全プレイリストの先頭の曲の始めの部分を再生する
「OFF」	スキャン再生を取り消す

メモ

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- ヒットチャート再生中はヒットチャートをプレイリストとしたスキャン再生を行うため、「PLAYLIST-SCAN」には切り替わりません。

2 聞きたい曲が再生されたら、「OFF」にする

メモ

スキャン再生中に以下の操作を行うと、スキャン再生が中止されます。

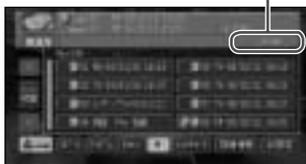
- リピート再生
- ランダム再生
- プレイリストからの選曲による再生
- トラックアップ / トラックダウン
- 早送り / 早戻し
- プレイリストの切り替え
- ソースの切り替え
- 電源OFF (エンジンOFF)

再生を一時停止する

ミュージックサーバーの再生を一時停止します (ポーズ)。

1 ■ にタッチする

ポ - ズ中の表示



ポーズを取り消すには、再度 ■ にタッチします。

メモ

ポーズ中に以下の操作を行うと、ポーズが解除されます。

- プレイリストからの選曲による再生
- 電源OFF (エンジンOFF)

ヒットチャートより再生する

本機ハードディスク内、またはインターネットから取得したヒットチャートをもとに再生、またはヒットチャートを見ることができます。

ヒット チャート プレイ (再生で きます)	年別の ヒット曲	1993年～再新年度の最大100位までの年間チャート、タイプ別チャート
	最近の ヒット曲	3ヶ月前までの発売日順のリスト(100曲まで)
最新週間チャート (再生できません)	3週間前までの30位	
最新月間チャート (再生できません)	3ヶ月前までの50位	

ヒットチャート再生

本機ハードディスク内、またはインターネットから取得したヒットチャートをもとに、録音されている曲を再生することができます（ヒットチャートプレイ）。

メモ

- ヒットチャートはオリコンヒットチャートをもとに作成されています。
- インターネットから取得したヒットチャート情報（年間チャート、最近のヒット曲、月間チャート3ヶ月分、週間チャート3週間分）はハードディスク内に保存されています。
- 通信で取得するときに携帯電話が接続されていないと、「携帯の接続を確認してください。」のメッセージが表示され、通信を使ったタイトルサーチはできません。
- インターネットから取得できるのは、チャート情報のみで、曲そのもののダウンロードはできません。
- 通信で取得するときにナビゲーション側で通信機能を使用している場合は、「携帯電話が使用中です。」のメッセージが表示され、取得はできません。
- ヒットチャートプレイは、タイトル情報取得で自動的にリンクされた曲のみ有効です。リンクをつける場合は、「ヒットチャートにリンクをつける」（93P）を参照してください。
- タイトルがついていない曲はヒットチャートプレイできません。

1

 を押して、ソースを [ミュージックサーバー] に切り替える

67P

2

ヒットチャート にタッチする



再生できる曲がある場合は、 が表示されます。

3

年度を選んでタッチする



再生できる曲がある場合は、 が表示されます。

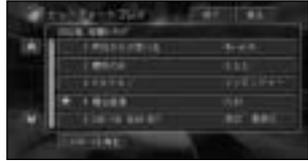
メモ

最近のヒット曲 にタッチしたときに、取得されていないチャートがある場合や期限が切れている場合は、通信で取得するための確認画面になります。

はい にタッチすると通信で取得します。

4

チャートを選んでタッチする
チャート画面が表示されます。



再生できる曲がある場合は、 が表示されます。

メモ

チャート情報を更新 にタッチすると、通信でチャート情報（売り上げ枚数など）を更新します。

5

このチャートを再生 にタッチする
選んだチャートが再生されます。



曲を選んでタッチし、**この曲から再生** にタッチすると、選んだ曲から再生することもできます。

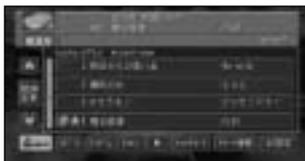


メモ

- 選んだ曲またはチャート内の1曲でも録音されていない場合は選ぶことはできません。
- **チャート情報** にタッチすると、選んだ曲のチャート情報を見ることができます。「チャート情報を見る」(次ページ)
- **ディスク情報** にタッチすると、選んだ曲のディスク情報を見ることができます。「ディスク情報を見る」(次ページ)

ヒットチャート再生画面

ヒットチャート再生画面は、チャート種別、順位(「最近のヒット曲」、タイアップチャートは除く)、トラックタイトル、ア・ティスト名、チャート再生順を表示します。



再生できる曲がある場合は、✕が表示されます。

再生順変更 にタッチすると、チャートの再生順が、カウントダウンまたはカウントアップに切り替わります。

最新のヒットチャートを見る

インターネットから取得し、最新の週間、月間ヒットチャートを見ることができます。

メモ

- 通信で取得するときに携帯電話が接続されていないと、「携帯の接続を確認してください。」のメッセージが表示され、通信を使ったタイトルサーチはできません。
- 通信で取得するときにナビゲーション側で通信機能を使用している場合は、「携帯電話が使用中です。」のメッセージが表示され、取得はできません。

1

[SRC] を押して、ソースを [ミュージックサーバー] に切り替える
67P

2

ヒットチャート にタッチする

3

週間 または **月間** にタッチする

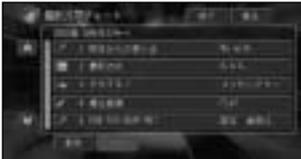


4

決定 にタッチする



最新チャート画面が表示されます



切替 にタッチすると、別の週または月のチャートを見ることができます。

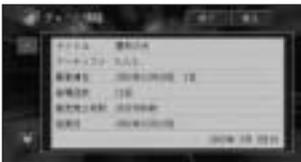
情報画面を見る

「チャート画面」または「最新チャート画面」から曲を選んで情報画面を表示させることができます。

情報画面には以下の2つがあります。

チャート情報画面

順位、登場回数、推定売上枚数、発売日などが表示されます。



▼ を押すと次ページ、**▲** を押すと前ページを見ることができます。

ディスク情報画面

CDの型番、メーカー、価格が表示されます。



ヒットチャート再生を中止する

1

SRC を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える
67P

2

ヒットチャート にタッチする

3

ヒットチャートプレイ中止 にタッチする



ヒットチャートより再生する



ミュージックサーバーに録音する

録音についてのご注意/CD録音モードを設定する

録音についてのご注意

録音する前に必ずお読みください。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録音したものが、原音とは音質が異なる、またノイズが発生する可能性があります。ご容赦ください。

CD録音モードを設定する

CDの録音モードをオート、マニュアル、シングルのいずれかに設定します。

「CD再生中に自動的に録音する」(79P)、「CDを手動で録音する」(79P)、「CDの1曲目だけを自動的に録音する」(80P)

1 AV設定 にタッチする

AV設定画面が表示されます。



2

録音設定 にタッチする
録音設定画面が表示されます。



3

オート、**マニュアル** または **シングル** にタッチする



オート CDを再生しながら自動的にミュージックサーバーへ録音する

マニュアル CDを再生しながら手動でミュージックサーバーに録音する

シングル CDの1曲目だけを自動的にミュージックサーバーへ録音する

4

設定終了 にタッチして、設定を終了する

メモ

録音中は設定できません。

録音時間を設定する

CD以外のソースの録音では、あらかじめ録音する時間を決めておくことにより、録音の停止操作の忘れによる不要な録音を防ぎます。

メモ

- 初期値は70分です、
- 録音中は設定を変えることができません。

1 **AV設定** にタッチする
AV設定画面が表示されます。

2 **録音設定** にタッチする
録音設定画面が表示されます。

3 「録音時間 (CD以外)」の時間を
選んでタッチする



選べる時間
10分、30分、50分、70分、90分

4 **設定終了** にタッチして、時間を
決定する



録音速度を設定する

CDの録音速度を等倍速 (×1) か2倍速 (×2) で録音することができます。2倍速での録音中はCD音声を聞くことはできません。

メモ

- 初期値は等倍速 (×1) です、
- 録音中は設定を変えることができません。

1 **AV設定** にタッチする
AV設定画面が表示されます。

2 **録音設定** にタッチする
録音設定画面が表示されます。

3 「録音速度」の **×1** または
×2 を選んでタッチする



等倍速録音は「×1」、2倍速録音は
「×2」です。

4 **設定終了** にタッチして、録音速度を
決定する



CD録音の制限について

すべてのモード

- 録音中にCD以外のソースが選択されても、ミュージックサーバーはCDの録音を継続します。⊙(HDD RECボタン)を押すと、録音を停止します。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- 音飛びのエラーを検出した場合はメッセージを表示します。
- 音飛びしてエラーが検出された場合は、その曲の始めに戻り録音を再開します。等倍速で録音中は、同じ曲の同じ位置(再生経過時間)で再度エラーが検出された場合、そのまま録音しますが、2倍速で録音中は、そのトラックは録音せず、次のトラックに移って録音を始めます。
- 曲間(トラック間)にブランクがないCDを録音すると、曲間が音飛びしたように録音されます。
- ミュージックサーバーの録音可能時間(ハードディスク容量)がCDの演奏時間より短い場合は、録音できません。(録音機能は働きません。)
- 2倍速録音中はCDの音声は聞くことはできません。録音終了後、確認操作をするか、録音を停止すると、聞くことができます。
- 2倍速録音中は早送り/早戻しはできません。
- 2倍速録音設定時はすでに録音済みの曲は再生せず、録音されていない曲をさがして録音します。
- CDなどをデジタル録音した記録媒体(CD-R、PCカードなど)から、ミュージックサーバーに録音(コピー)することはできません。また、ミュージックサーバーからPCカードにコピーすることはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム(SCMS)の働きによるものです。

オート/シングルモード

- すでに録音済みの曲は、同じCDから重複して録音できません。
- エンジンをOFFにすると、録音中の曲が消去されます。次回エンジンをONにすると、エンジンをOFFにしたときに録音していた曲の始めから録音を開始します。
- CDを取り出すと、録音中の曲が消去されます。
- 選曲/早送り/早戻しすると、録音中の曲が消去され、次の未録音の曲から録音を開始します(「オートモード」選択時のみ)。
- スキャン/一時停止すると、録音を中止します。録音を再開するには、未録音のトラックを再生中に⊙(HDD RECボタン)を押してください。

マニュアルモード(1曲のみ)

- CD録音モードを「オート」に切り替えてから⊙(HDD RECボタン)を押すと、再生中の曲の頭から録音を開始します。
- CD録音モードを「シングル」に切り替えてから⊙(HDD RECボタン)を押すと、次の未録音の曲がトラック1のときのみ録音を開始します。

CD再生中に自動的に録音する

CDを再生すると、自動的にミュージックサーバーに録音されます。

- 1 録音モードを「オート」にする
「CD録音モードを設定する」
(76P)

メモ

出荷時の録音モードは「オート」です。

- 2 CDを再生する
「CDの聞きかた」(36P)

CDの録音が始まります。

録音中の表示(赤色)



再生されている曲がすでに録音済みでも、まだ録音されていない曲がある場合は、録音待機状態を示す青色になります。

- ソースをミュージックサーバーに切り替えても、録音中はミュージックサーバーの再生はできません。
- CD以外のソースが選択されても、ミュージックサーバーはCDの録音を継続します。
- 地図画面のときは、右上に録音中のマーク **R** が表示されます。2倍速録音中は **R** が表示されます。
- 2倍速録音中は、メッセージが表示されます。さらに、**REC x2** が表示されます。

録音を停止するには

Ⓞ(HDD RECボタン)を押します。

メモ

2倍速録音中は、録音を解除された曲の始めに戻り通常再生します。

CDを手動で録音する

CDの曲を、ボタンを操作してミュージックサーバーに録音します。

- 1 録音モードを「マニュアル」にする
「CD録音モードを設定する」
(76P)

メモ

出荷時の録音モードは「オート」です。

- 2 録音したい曲を再生する
「CDの聞きかた」(36P)、「CDのいろいろな再生のしかた」(37P)

- 3 Ⓞ(HDD RECボタン)を押す
再生中の曲は始めに戻って再生され、録音が始まります。
その曲の演奏が終了すると、録音は終了します。

録音中の表示(赤色)



メモ

- ソースをミュージックサーバーに切り替えても、録音中はミュージックサーバーの再生はできません。
- CD以外のソースが選択されても、ミュージックサーバーはCDの録音を継続します。
- 地図画面のときは、右上に録音中のマーク **R** が表示されます。2倍速録音中は **R** が表示されます。
- 2倍速録音中は、メッセージが表示されます。さらに、**REC x2** が表示されます。

録音を停止するには

Ⓞ(HDD RECボタン)を押します。

メモ

2倍速録音中は、録音を解除された曲の始めに戻り通常再生します。

CDの1曲目だけを自動的に録音する

CDを再生すると、1曲目だけが自動的にミュージックサーバーに録音されます。

1 録音モードを「シングル」にする

「CD録音モードを設定する」
(76P)

メモ

出荷時の録音モードは「オート」です。

2 CDを再生する

「CDの聞きかた」(36P)

CDの録音が始まります。

録音中の表示(赤色)



メモ

- ソースをミュージックサーバーに切り替えても、録音中はミュージックサーバーの再生はできません。
- CD以外のソースが選択されても、ミュージックサーバーはCDの録音を継続します。
- 地図画面のときは、右上に録音中のマーク **R** が表示されます。2倍速録音中は **R** が表示されます。

- 2倍速録音中は、メッセージが表示されます。さらに、**REC** **2x** が表示されます。

録音を停止するには

Ⓞ(HDD RECボタン)を押します。

メモ

2倍速録音中は、録音を解除された曲の始めに戻り通常再生します。

CD以外のソースを録音する

テレビ、FM/AM、MD、交通情報、VTRの音声をミュージックサーバーに録音することができます。(アナログソース録音)

メモ

- CD以外のソースは、すべて手動で録音します。「CD録音モード」のような録音方法の選択はありません。
- CD以外のソースの録音では、あらかじめ録音する時間を決めておくことにより、録音の停止操作の忘れによる不要な録音を防ぎます。

設定するには、「録音時間を設定する」(77P)を参照してください。

1 録音するソースに切り替える
「ソースを切り替える」(20P)

2  (HDD RECボタン) を押す
録音が始まります。
録音中の表示 (オレンジ色)



メモ

- CD以外のソースを録音すると、1回の操作で1つのプレイリストが作成されます。
- MDを録音した場合は、DISC1枚を1つのトラックとして録音されます。
- 地図画面のときは、右上に録音中のマーク  が表示されます。

録音を停止するには

 (HDD RECボタン) を押します。

プレイリストの編集

プレイリストには、次の2種類があります。

オリジナル プレイリスト
録音時に自動的に作成される。プレイリスト名の頭に **O** (「Original」の頭文字) が表示される。

ユーザー プレイリスト
ユーザーが編集したプレイリスト。プレイリスト名の頭に **U** (「User」の頭文字) が表示される。

プレイリストを作成する

ミュージックサーバーに録音された曲からお好みのプレイリスト(ユーザープレイリスト)を作成することができます。

メモ

- プレイリストは、999個まで作成できます。
- 1つのプレイリストには、99曲(トラック)まで登録できます。

1

[SRC] を押して、ソースを [ミュージックサーバー] に切り替える
67P

2

詳細情報 にタッチする
プレイリスト詳細情報画面が表示されます。



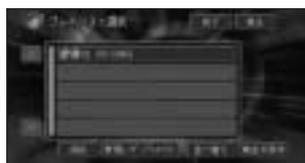
メモ

- トラックリスト表示画面が表示されているときは、**リスト切替** にタッチしてプレイリストを表示します。

- プレイリスト表示中に **詳細情報** にタッチしないとプレイリスト詳細情報画面を表示することはできません。

3

他のプレイリスト編集 にタッチする
他のプレイリスト選択画面が表示されます。再生している曲の編集を行う時は、この操作は不要です。



4

新規ユーザープレイリスト にタッチする
名称入力画面が表示されます。



メモ

あらかじめ入力されている「ユーザープレイリスト」のあとに続けて入力した場合は、「ユーザープレイリスト XXXX」となります。
「ユーザープレイリスト」を消したいときは、名称入力の時に **削除** に複数回タッチして消したのち、名称入力をはじめてください。

5 名称を入力して、**入力終了**にタッチする

トラック選択方法選択画面が表示されます。



6 登録したい曲の検索方法を選んでタッチする

選択した方法による検索項目のリストが表示されます。

曲の検索方法は以下の種類があります。

- プレイリストから探す
- アーティストで探す
- ジャンルで探す
- 最近録音した曲から探す

メモ

PCカード内のMP3ファイルは選択できません。

7 **プレイリストから探す** を選択した場合、登録したい曲のあるプレイリストを選んでタッチするトラック登録画面が表示されます。



8 登録したい曲にタッチして選択する

選択すると、チェックマーク(✓)が付き、引き続き選ぶことができます。再度タッチすると、選択が解除されます。

チェックマーク



メモ

全選択 にタッチすると、すべての曲が選択されます。選択を解除するには、**全解除** または解除したい曲を選んでタッチします。リストに100曲以上ある場合は、先頭から99曲まで選択されます。

9 **登録** にタッチする

10 **アーティストから探す** または **ジャンルで探す** を選択した場合、登録したい曲のあるアーティストまたはジャンルを選んでタッチするトラック登録画面が表示されます。

11 手順8、9と同様に登録する

12 **最近録音した曲から探す** を選択した場合、手順8、9と同様に登録する

13 **終了** にタッチする

プレイリストの情報を編集する

登録されているプレイリストの情報を編集します。

メモ

PCカード内のMP3ファイルは編集できません。

1  を押して、ソースを [ミュージックサーバー] に切り替える
67P

2 情報を編集したいプレイリストを選んでタッチする



3 **詳細情報** にタッチする
プレイリスト詳細情報画面が表示されます。



4 編集したい項目にタッチする
この後は編集する項目に応じて、それぞれの説明をお読みください。

タイトルやよみを変更する 84P

アーティスト名を変更する 85P

ジャンルを設定する 85P

画像を設定する 86P

タイトルやよみを変更する

タイトルは表示や検索に、よみは音声操作に使用します。ここで変更したタイトルは音源となったCDのタイトル表示に反映されます。

5 **タイトル** または **よみ** を選んでタッチする

文字入力画面になります。

『ナビゲーションブック』『文字の入力操作』



文字を入力して **入力終了** にタッチすると、プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

メモ

- 「タイトル」は全角16文字（半角32文字）まで入力できます。
- 「よみ」は、ひらがな32文字まで入力できます。

6 **戻る** にタッチする

アーティスト名を変更する
アーティスト名は検索に使用します。

5 アーティスト にタッチする



手動で入力する場合

マニュアル にタッチすると、文字入力画面になります。文字を入力して **入力終了** にタッチすると、プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

『ナビゲーションブック』「文字の入力操作」

メモ

「アーティスト」は全角16文字（半角32文字）まで入力できます。

リストから選ぶ場合

リスト選択 にタッチすると、アーティストリスト画面になります。アーティストを選択してタッチすると、プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

メモ

消去 にタッチすると、選択されているアーティストはリストから消去され、プレイリスト詳細情報画面に戻ります。ただし、そのアーティストの曲が録音されている場合は消去できません。

6 戻る にタッチする

ジャンルを設定する
ジャンルは検索に使用します。

5 ジャンル にタッチする

ジャンルリスト選択画面が表示されます。



ジャンルを選んでタッチすると、プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

6 戻る にタッチする

画像を設定する

プレイリスト再生時にオーディオ画面の背景に画像を表示させることができます（プレイリスト画像リンク）。デジタルカメラなどで撮影した画像を使用することもできます。

メモ

- デジタルカメラなどで撮影した画像を使用するには、画像が保存されているPCカードをナビゲーション本体にセットしてください。
- 設定できる画像の形式は、デジタルカメラで対応している一般的なJPEG形式のみです。
- 半角で255文字（全角で127文字）以内のファイル名がナビゲーションのメニュー内の画像リストに表示されます。
- ハードディスク内の画像ファイルとPCカード内の画像ファイルの合計が200を超えると、PCカード内の画像ファイルがリスト表示されないことがあります。表示されないときは、画像ファイルの合計が200以下になるように、PCカード内の画像ファイルを削除してください。
- PCカード内のフォルダ（ディレクトリ）は8階層（ルートディレクトリを含む）まで認識できます。
- プログレッシブJPEG形式の画像は使用できません。

5

画像 にタッチする

画像選択画面が表示されます。



メモ

PCカードをセットしている場合は、PCカード内のファイルモリストに表示されます。

6

リストから好みの画像を選んで

決定 にタッチする

画像の表示方法選択画面が表示されます。



設定を解除するには
手順5で**画像なし**にタッチします。

7 画像の表示方法を選んでタッチする

「中央」 画面の中央に画像を配置する

「繰り返し」画面を埋めるように、画像を繰り返し並べて配置する

中央



繰り返し



8 戻る にタッチする

プレイリストの再生順番を変更する

メモ

- 通常の再生では、プレイリストの順番に繰り返し再生します。
- PCカード内のMP3ファイルの再生順番は変更できません。

1

 を押して、ソースを [ミュージックサーバー] に切り替える

67P

トラックリスト表示画面が表示されているときは **リスト切替** にタッチしてプレイリストを表示します。

2

詳細情報 にタッチする
プレイリスト詳細情報画面が表示されます。



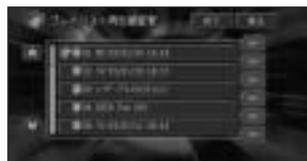
3

他のプレイリスト編集 にタッチする
他のプレイリスト選択画面が表示されます。



4

並べ替え にタッチする
再生順番変更画面が表示されます。



- 5** 順番を変更したいプレイリストにタッチして、並び替えたい位置の  にタッチする



メモ

移動対象のプレイリストは水色で表示されます。

- 6** **終了** にタッチして編集を終了する

メモ

戻る にタッチすると、それまで行った編集内容が保存されます。PCカードプレイリストより下には並び替えることはできません。

プレイリストを消去する

メモ

- プレイリストの種類により、消去されるデータが異なります。

オリジナルプレイリスト	プレイリスト内のトラックデータも消去する
-------------	----------------------

ユーザープレイリスト	プレイリストのみ消去し、トラックデータは消去しない
------------	---------------------------

- オリジナルプレイリスト内の消去されたトラックが、ユーザープレイリストにも登録されている場合には、ユーザープレイリスト内のトラックも同時に消去されますのでご注意ください。
- PCカードの内のMP3ファイルは消去できません。

1

 を押して、ソースを [ミュージックサーバー]

67P

トラックリスト表示画面が表示されているときは **リスト切替** にタッチしてプレイリストを表示します。

2

詳細情報 にタッチする
プレイリスト詳細情報画面が表示されます。



3

他のプレイリスト編集 にタッチする
他のプレイリスト選択画面が表示されます。



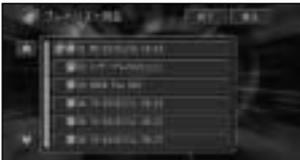
- 4** **消去** にタッチする
消去画面が表示されます。



- 5** 消去したいプレイリストにタッチする
消去確認メッセージが表示されます。



- 6** **はい** にタッチする
選んだプレイリストが消去されます。



操作を中止するには
いいえ にタッチして前の画面に戻ります。

再生しないプレイリストを設定する

特定のプレイリストの再生を禁止することができます（再生不許可）。

メモ

- 再生不許可に設定されたプレイリストは、再生時にスキップされます。
- 設定しようとするプレイリストが再生中のときは、再生を停止してください。
- 再生不許可に設定されたプレイリストには  が表示されます。

- 1**  を押して、ソースを [ミュージックサーバー] に切り替える
67P
トラックリスト表示画面が表示されているときは **リスト切替** にタッチしてプレイリストを表示します。

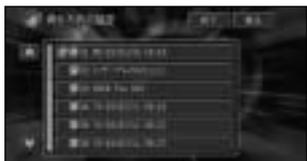
- 2** **詳細情報** にタッチする
プレイリスト詳細情報画面が表示されます。



- 3** **他のプレイリスト編集** にタッチする
他のプレイリスト選択画面が表示されます。



- 4** **再生不許可** にタッチする
再生不許可設定画面が表示されます。
再生不許可の設定は、画面で確認できます。



- 5** 再生しないプレイリストを選んでタッチする
選択されたプレイリストには  が表示されます。



- 6** **終了** にタッチする
再生不許可になります。

再生許可に戻すには
もう一度、手順5で選んだプレイリストにタッチします。

プレイリストに曲を追加する

ユーザープレイリスト（プレイリスト名の頭に  が付いているもの）に曲を追加できます。（オリジナルプレイリストには追加できません。）

- 1**  を押して、ソースを [ミュージックサーバー] に切り替える
67P

トラックリスト表示画面が表示されているときは **リスト切替** にタッチしてプレイリストを表示します。

- 2** トラックを追加したいユーザープレイリストにタッチする

- 3** **詳細情報** にタッチする
プレイリスト詳細情報画面が表示されます。



- 4** **トラック** にタッチする
トラック選択画面が表示されます。



- 5** **トラック追加** にタッチする
トラック選択方法選択画面が表示されます。



以降の操作は「プレイリストを作成する」(82P)の手順4~7の操作と同じです。

トラックの情報を編集する

登録されているトラックの情報を編集します。

メモ

- PCカード内のMP3ファイルは編集できません。
- PCカード内のMP3ファイルのID3 Tagを変更しても、トラック情報が更新されないことがあります。更新されないときは、PCカード内の該当するファイルをいったん消去して保存し直してください。

- 1**  を押して、ソースを [ミュージックサーバー] に切り替える
67P

トラックリスト表示画面が表示されているときは **リスト切替** にタッチしてプレイリストを表示します。

- 2** 編集したいトラックが登録されているユーザープレイリストを選んでタッチする

- 3** **リスト切替** にタッチする
トラックリスト表示画面が表示されます。



- 4** 編集したいトラックを選んでタッチする

- 5** **詳細情報** にタッチする
トラック詳細情報画面が表示されます。



以降の操作は「プレイリストの情報を編集する」(84P)と同じです。編集する項目に応じて、それぞれの説明をお読みください。

タイトルやよみを変更する	84P
アーティスト名を変更する	85P
ジャンルを設定する	85P
チャートリンク情報	93P

曲の再生順番を変更する

ユーザープレイリスト（プレイリスト名の頭に **U** が付いているもの）内の曲の再生順番を変更することができます。（オリジナルプレイリストでは変更できません。）

メモ

- プレイリストの順番を変更することもできます。
「プレイリストの再生順番を変更する」（87P）
- PCカード内のMP3ファイルの曲順は変更できません。

1

src を押して、ソースを [ミュージックサーバー] に切り替える
67P

トラックリスト表示画面が表示されているときは **リスト切替** にタッチしてプレイリストを表示します。

2

順番を変更したい曲が登録されているユーザープレイリストにタッチする

3

リスト切替 にタッチする
トラックリスト表示画面が表示されます。



4

詳細情報 にタッチする
トラック詳細情報画面が表示されます。



5

他のトラック編集 にタッチする
他のトラック選択画面が表示されます。



6

並べ替え にタッチする
再生順変更画面が表示されます。



7

順番を変更したい曲にタッチして、並び替えたい位置の **←** にタッチする



メモ

移動対象の曲は水色で表示されます。

8

終了 にタッチして編集を終了する

ヒットチャートにリンクをつける

リンクはタイトル情報取得時に自動的に行われます。ただし、発売直後のCDなどは、タイトル情報は取得できるがリンク情報は取得できない場合があります。

その場合は、**チャートリンク情報**にタッチすることで情報取得を行いリンクをつけることができます。

1  を押して、ソースを [ミュージックサーバー] に切り替える
67P

2 編集したいトラックが登録されているユーザープレイリストを選んでタッチする

3 **リスト切替** にタッチする
トラックリスト表示画面が表示されます。



4 リンクをつけたいトラックを選んでタッチする

5 **詳細情報** にタッチする
トラック詳細情報画面が表示されます。



6 **チャートリンク情報** にタッチする
情報取得の確認画面が表示されます。

メモ
すでにチャートリンク情報を取得済みの場合は、「すでにヒットチャートプレイの対象曲として登録されています。」と表示され、詳細情報画面に戻ります。

7 **はい** にタッチする
情報取得を開始します。

メモ
いいえ にタッチすると詳細情報画面に戻ります。

曲を消去する

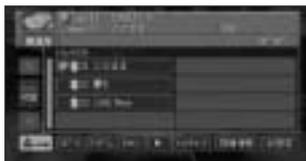
- メモ**
- プレイリストごと消去することもできます。
「プレイリストを消去する」(88P)
 - オリジナルプレイリスト内の消去されたトラックが、ユーザープレイリストにも登録されている場合には、ユーザープレイリスト内のトラックも同時に消去されますのでご注意ください。
 - PCカード内のMP3ファイルは消去できません。

1  を押して、ソースを [ミュージックサーバー] に切り替える
67P

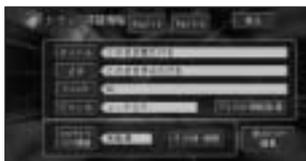
トラックリスト表示画面が表示されているときは **リスト切替** にタッチしてプレイリストを表示します。

2 消去したい曲が登録されているプレイリストを選んでタッチする

- 3** **リスト切替**にタッチする
トラックリスト表示画面が表示されます。



- 4** **詳細情報**にタッチする
トラック詳細情報画面が表示されます。



- 5** **他のトラック編集**にタッチする
他のトラック選択画面が表示されます。



- 6** **消去**にタッチする
消去画面が表示されます。



- 7** 消去したい曲にタッチする
選択された曲にはチェックマーク(✓)が付き、引き続き選ぶことができます。
再度タッチすると、選択が解除されます。



メモ

全選択にタッチすると、すべての曲が選択されます。選択を解除するには、**全解除**または解除したい曲を選んでタッチします。リストに100曲以上ある場合は、先頭から99曲まで選択されます。

- 8** **終了**にタッチする
消去確認メッセージが表示されます。



メモ

戻るにタッチしても消去できます。

- 9** **はい**にタッチする

操作を中止するには
いいえにタッチして前の画面に戻ります。

タイトル情報を取得する

プレイリストのタイトル情報を、本機ハードディスク内またはインターネットのGracenote CDDDBのデータベース¹、PCカード内のテキスト情報（マイデータベース）から取得することができます（タイトルサーチ）。

タイトル情報を取得することにより、ミュージックサーバーの曲の検索などをスムーズに行うことができます。

取得できる情報

CDまたは曲によっては取得できない情報もあります。

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルのよみ
- アルバムのアーティスト
- アルバムのジャンル
- アルバムの発売年
- トラックタイトル
- トラックタイトルのよみ
- トラックのアーティスト
- トラックのジャンル

メモ

- タイトル情報は、まずハードディスクから探し、見つからないときは自動的に通信で探します。
- インターネットから取得したタイトル情報はハードディスクに保存されます。
- 通信で探すには、本機に携帯電話が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。

- 通信で探すときに携帯電話が接続されていないと、「携帯の接続を確認してください。」のメッセージが表示され、通信を使ったタイトルサーチはできません。
- 通信で探すときにナビゲーション側で通信機能を使用している場合は、「携帯電話が使用中です。」のメッセージが表示され、通信を使ったタイトルサーチはできません。

¹ Gracenote is CDDDB, Inc. d/b/a "Gracenote." CD-related data from Gracenote CDDDB®, copyright 1999, 2000 Gracenote. Gracenote CDDDB Client Software, copyright 1999, 2000 CDDDB, Inc. U.S. 特許番号 No.5,987,525; No.6,061,680; No.6,154,773他、特許発行済み/申請中。

CDDDBはGracenoteの登録商標です。CDDDB、the Gracenote logo、Gracenote CDDDB Logo、Meta-Database、そしてthe Gracenote Logoは、Gracenoteの登録商標です。音楽認識技術とMRSは、Gracenoteのサービス商標です。

音楽認識技術とMeta-Database™は、GracenoteとThe Gracenote CDDDB® Music Recognition Serviceが提供しています。Gracenoteは、音楽認識技術及び関連コンテンツ配信分野での業界標準です。

更に詳しい情報は、以下のWWWサイトにてご確認ください。

<http://www.gracenote.com>



Gracenote CDDDBはパブリックなデータベースですので、本機内蔵のデータベース、インターネットのデータベースともに、データの内容を100%保証するものではありません。Gracenote CDDDBのインターネットのデータベースは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。

本商品を利用してのGracenote CDDDBのインターネットのデータベースへのアクセスは、2005年3月までご利用できます。

タイトル情報を取得するには

1  を押して、ソースを [ミュージックサーバー] に切り替える
67P

2 情報取得したいプレイリストにタッチする

3 **詳細情報** にタッチする
プレイリスト詳細情報画面が表示されます。



4 **プレイリスト情報取得** にタッチする

情報取得中画面の表示後、取得情報結果表示画面が表示されます。



メモ
トラック詳細情報画面の **プレイリスト情報取得** にタッチして情報を取得することもできます。

- | | |
|-------------|--|
| ハードディスクから探す | 本機内蔵のハードディスクに収録されているデータベースから情報を取得する |
| 通信で探す | 携帯電話を使った通信により、Gracenote CDDBのインターネットのデータベースから情報を取得する |

メモ
本機内蔵のハードディスクからタイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面が表示されます。ここで該当のタイトル情報が見当たらない場合は、さらに **通信** を選び通信で探すことができます。

5

登録したいタイトルにタッチする
戻るにタッチすると、タイトルは登録されません。プレイリスト詳細情報画面から**タイトル**を選んで、好みのタイトルを入力してください。

「プレイリストの情報を編集する」
 (84P)

通信で情報を取得した場合、通信の状態および検索サーバの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。失敗すると、「情報の取得に失敗しました。」のメッセージが表示されます。

メモ

- PCカード内にテキスト情報（マイデータベース）がある場合、タイトル候補の選択画面から選ぶことができます。ただし、情報取得しているプレイリストと曲数が一致しているものしか表示されません。テキスト情報のタイトルは頭に [] が付きます。テキスト情報の作成方法は「テキスト情報の作成」（次項）を参照してください。
- タイトル候補はPCカード内のテキスト情報を含め最大105タイトル表示できます。

テキスト情報の作成

タイトル情報は本機内蔵のハードディスクまたは通信によって取得します。これらの方法に加えて、お客様がパソコンで作成したテキストファイルをPCカードを経由し、タイトル情報として使用することができます（マイデータベース）。

CDタイトル情報

テキストエディターを使用して、以下の形式でテキストを入力します。

CD [TAB] 曲数 [TAB] タイトル [TAB] よみ [TAB] アーティスト [TAB] ジャンルコード [TAB] 発売年 [改行]



項目	入力形式
曲数	1～99
タイトル	半角で32文字、全角で16文字まで
よみ	全角ひらがなで32文字まで
アーティスト	半角で32文字、全角で16文字まで

ジャンルコード 1：その他、2：J-POP、3：ロック/ポップス、4：ジャズ、5：クラシック、6：ヒップホップ/ラップ、7：ブラック/ソウル、8：クラブ/ダンス、9：ブルース、10：レゲエ、11：テクノ、12：フュージョン、13：サウンドトラック、14：ワールド、15：演歌/民謡

発売年 西暦の4桁（2003年の場合、「2003」）、または「0」（なし、または不明の場合）

メモ

- 「#CD」は必ず入力してください。
- [TAB] では [TAB] キーを、[改行] では [ENTER] または [RETURN] キーを押してください。
- タイトル候補の選択画面にタイトル以外を表示させたい場合は、「発売年」と [改行] の間に [TAB] とテキスト（半角で32文字、全角で16文字まで）を入力してください。
- 曲数を正しく入力しないと、タイトル候補の選択画面に表示されません。
- 半角スペースを入力すると、その項目は削除されます（タイトルは削除できません）。

- 半角スペースを入力すると、その項目は削除されます（タイトルは削除できません）。

テキストファイルを保存する

入力したテキストを、「MyDB」の名称でPCカードに保存します。



タイトル情報を取得する

CDトラック情報

テキストエディターを使用して、以下の形式でテキストを入力します。

#TRACK [TAB] トラック番号 [TAB] タイトル [TAB] よみ [TAB] アーティスト [TAB] ジャンルコード [改行]



項目	入力形式
トラック番号	1～99
タイトル	半角で32文字、全角で16文字まで
よみ	全角ひらがなで32文字まで
アーティスト	半角で32文字、全角で16文字まで

メモ

- 「#TRACK」は必ず入力してください。
- [TAB] では [TAB] キーを、[改行] では [ENTER] または [RETURN] キーを押してください。
- 入力されていないトラック、項目がある場合、そのトラック、項目は更新されません。

PCカードに記録されたMP3ファイルを聞く

PCカード内のMP3ファイルの聞きかた

この操作をしていただくだけで、PCカードに記録したMP3ファイルを聞くことができます。「MP3ファイルについて」(128P)

1 **OPEN** ボタンを押す
ディスプレイ部が開き、PCカード挿入口があらわれます。

2 PCカード挿入口にPCカードを差し込む
自動的に検索が始まります。
『スタートブック』「PCカードの入れかた」

メモ

- PCカードに記録されたMP3が最後尾のプレイリストとしてミュージックサーバーに登録されます。
- ミュージックサーバーに登録されるまで、ミュージックサーバーの動作が多少遅くなることがあります。

3 PCカードが奥まで差し込まれたことを確認してから、もう一度 **OPEN** ボタンを押す
ディスプレイ部が閉じます。

4 **SRC** を押して、ソースを[ミュージックサーバー]に切り替える

67P

ソース プレイリストタイトル



リスト切替に
タッチする



トラックタイトル
トラックNo. 再生中トラックの経過時間

プレイリストの最後にPCカード内のMP3ファイルが追加されます。通常のプレイリストとして再生することができます。

「ミュージックサーバーとは」(66P)

メモ

- PCカード内のMP3ファイルはID3 Tagからタイトル情報の取得ができた場合、ソースプレートにトラックタイトルが表示されます。取得できなかった場合は、ファイル名が表示されます。
- PCカード内のMP3ファイルのプレイリストタイトルは[PC-CARD]です。

つづく→

- PCカード内のMP3ファイル再生中にディスプレイを開くとハードディスク内の先頭のプレイリストを再生します。ハードディスク内のプレイリストが無い場合は再生が停止します。
- PCカード内のMP3ファイルの再生順番はMP3ファイルを作成した順番になります。パソコンでPCカードへ複数をまとめてコピーしたりフォルダごとコピーした場合はパソコンのファイルシステムに依存します。
- PCカード内のMP3ファイルはフォルダ表示できません。
- PCカードプレイリストの消去・並べ替え・詳細情報の編集およびPCカードプレイリスト内のトラックの消去・並べ替え・詳細情報の編集はできません。
- PCカードが挿入された状態で、エンジンスイッチをONまたは、ACCにしたとき、およびディスプレイを開閉したときは、自動的にPCカードの検索が始まります。
- PCカードプレイリストの曲の音声操作呼び出しはできません。

5 PCカード内のMP3ファイルの再生を中止するには、 ボタンを長く押す

メモ

PCカードをセットしたまま他のソースに切り替えることもできます。

ご注意

- PCMCIAタイプⅡ(5V)以外のPCカードは使用できません。規格の異なるPCカードを差し込むと、PCカード挿入口が破損するなどの故障の原因となります。
- PCカード内にたくさんのファイルを置くと起動が遅くなることがあります。
- 本機に使用するPCカードは、FATもしくはFAT32でフォーマットしてある必要があります。NTFSなどでフォーマットしてあるPCカードはご使用になれません。
- PCカードスロットに装着可能なメモリ媒体には保証できる温度が低いものが存在します。長時間の使用ではカードを破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 長時間PCカードを装着して使用すると、カードが非常に熱くなる可能性がありますので注意してお取扱いください。

TVモニターの設定

画質調整

映像系（ナビゲーション、DVD、テレビ、VTR、バックカメラ）およびソース画面（CD、ミュージックサーバー、その他の画面）の画質を調整することができます。
走行中は操作できません。

黒の濃さやコントラストを調整する映像の黒の濃さ、明暗（コントラスト）を変更することができます。

メモ

- ナビゲーション、DVD、テレビ、VTR、バックカメラ、CD、ミュージックサーバー、その他の映像で、別々に設定内容を記憶します。またそれぞれイルミON/OFF別々に設定内容を記憶します。
- バックカメラの画質調整を行う場合は、[AV設定]の[入出力設定]でバックカメラ入力をオンに設定しておくこと、画質調整画面右上に**バックカメラ**が表示されます。シフトレバーをリバースの位置にし、**バックカメラ**にタッチするとバックカメラの画質を調整することができます。バックカメラが起動（動作）していない、またはシフトレバーをリバースの位置にしていない場合は、黒い画面が表示されます。「バックカメラに切り替える」(108P)

- 調整したい映像の表示画面で、**画面**を長く押す
画質調整画面が表示されます。

- [黒の濃さ]または[コントラスト]の**-**または**+**にタッチして、設定を調整する



ボタン 黒の濃さ 色あい

- | | | |
|----------|------|-------------------|
| - | 薄くなる | 白黒の差が小さくなる(暗くなる) |
| + | 濃くなる | 白黒の差が大きくなる(明るくなる) |

- 設定終了**にタッチしてする

色の濃さや色あいを調整する

お好みに合わせて、映像の色の濃さ、色あいを変更することができます。

メモ

- テレビ、DVD、VTR、バックカメラの映像で別々に設定内容を記憶します。
- ナビゲーションの映像では、設定調整できません。
- イルミON/OFF別々に設定内容を記憶することはできません。

1 調整したい映像の表示画面で、**画面** を長く押す
画質調整画面が表示されます。

2 [色の濃さ] または [色あい] の **-** または **+** にタッチして、設定を調整する



ボタン 色の濃さ 色あい

- 薄くなる 赤が強くなる

+ 濃くなる 緑が強くなる

3 **設定終了** にタッチする

液晶画面の明るさを調整する

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまふことがあります。

メモ

ナビゲーション、DVD、テレビ、VTR、バックカメラ、CD、ミュージックサーバー、その他の映像で、別々に設定内容を記憶します。またそれぞれイルミON/OFF別々に設定内容を記憶します。

1 調整したい映像の表示画面で、**画面** を長く押す
画質調整画面が表示されます。

2 [明るさ] の **-** または **+** にタッチして、設定を調整する



- 画面を暗くするとき

+ 画面を明るくするとき

3 **設定終了** にタッチする

ワイド画面の拡大方法を切り替える

DVDテレビおよびVTRの映像は、通常の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

メモ

- 通常映像は縦横比4 : 3、ワイド映像は縦横比16 : 9です。
- DVD、テレビ、VTRで設定内容が別々に記憶されます。
- ナビゲーションやソースの壁紙の映像は、ワイドモードの切り替えはできません。

1



を押し、DVD、テレビ、VTRのいずれかの映像画面を表示させる

2

AV設定 にタッチする
AV設定画面になります。



3

ワイド にタッチする
ワイド設定画面になります。



4

変更するモードを選んでタッチする



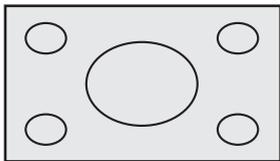
メモ

- 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ワイド設定は映像ソース（DVD、TV、VTR）でのみ可能です。
- 走行中は設定できません。

5

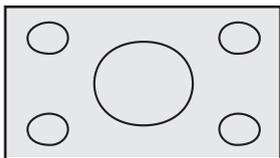
設定終了 にタッチする

ワイドモードの種類



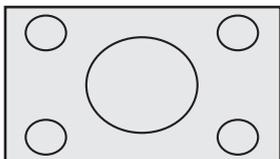
FULL (フル)

4 : 3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



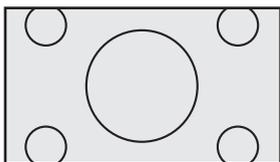
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



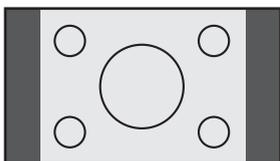
CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



ZOOM (ズーム)

4 : 3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4 : 3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。

画面の表示モードを切り替える

本機の画面の表示のしかたには、次の3種類があります。

1画面	通常の画面表示
ピクチャーサイドピクチャー	画面を2分割して、ナビゲーション画面とソース画面を同時に表示する
ピクチャーインピクチャー	ナビゲーション画面の中にソース画面を小さく表示する(子画面)

画面の表示モードを切り替えるには、次のようにします。

- 1** **画面** を押す
画面表示モード選択画面が表示されます。



ピクチャーサイドピクチャーに変更する

- 2** **画面** または **戻る** にタッチする



メモ

- 2画面とも同じ画面にすることはできません。
- ソース画面どうし(テレビとDVD、DVDとビデオなど)の2画面表示はできません。

- ナビゲーションの操作をやすくするため、一時的にナビゲーション画面だけになる(1画面になる)ことがあります。
- ピクチャーサイドピクチャー表示中に **画面** を押すと、ソース画面だけになります。(1画面になります。)

ピクチャーインピクチャーに変更する

- 2** **画面**、**戻る**、**戻る** のいずれかにタッチする

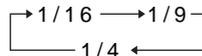


- 3** **画面サイズ** にタッチしてサイズを選び、**戻る** にタッチする
子画面の大きさを変更することができます。



メモ

- ピクチャーインピクチャーで表示中に、直接子画面にタッチしてサイズを変更することもできます。



- TV、VTR、DVDを選んでいる場合のみ子画面のサイズを変更することができます。

- 走行中は子画面のサイズを変更することはできません。
- ピクチャーインピクチャーで表示される子画面は、ワイドモードの設定にかかわらず、「ワイド」(テレビアスペクトが16:9)で表示されます。
- ナavigーションの操作をしやすいするため、一時的にナビゲーション画面だけになる(1画面になる)ことがあります。
- ピクチャーインピクチャー表示中に  を押すと、ソース画面だけになります。(1画面になります。)
- ピクチャーインピクチャーの親画面と子画面の入れ替えはできません。

1画面に戻すには



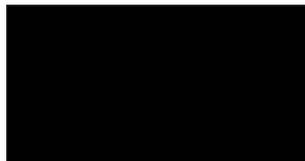
にタッチします。

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

1 消したい映像の表示画面で、 を押す
画面表示モード選択画面が表示されます。

2 **画面消し** にタッチする
画面が消えます。
もう一度画面にタッチすると、画面を表示します。



画面が消えている状態(バックライトがOFF)のときに、エンジンをOFFにして、再度ONにした場合は、バックライトはONされます。

メモ

画面を消しているときは、音声認識コントローラーでの操作はできません。

VTRを見る

VTRの入力を設定する

VTRの映像を見るためには、以下の設定を行ってください。

1  を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定** にタッチする
AV設定画面になります。



3 **入出力設定** にタッチする

4 [VTR入力] の **ON** にタッチする



VTRの映像を見ないときは、**OFF** にタッチします。

5 **設定終了** にタッチする

VTRの見かた

VTRソースに切り替えてVTRの映像を見ます。

ご注意

停車中でパーキングブレーキがかかっているときは、ディスプレイ部でVTRの映像を見られます。走行中は安全のためにディスプレイ部には、VTRの映像は表示されません。

1  を押して、ソースを [VTR] に切り替える
ビデオ画面が表示されます。



メモ

- 映像がナビゲーション画面のときに、ソースを [VTR] にした場合は、音声のみ切り替わります。
- 走行中には、以下の画面が表示されます。安全のためにディスプレイ部には、VTRの映像は表示されません。



2  にタッチする
VTRの映像が表示されます。
元の画面に戻るには、画面にタッチします。

バックカメラに切り替える

バックカメラの入力を設定する

バックカメラの入力を設定することができます。

1 **NAVI/AV** を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定** にタッチする
AV設定画面になります。



3 **入出力設定** にタッチする

4 バックカメラを表示する場合は、**[バックカメラ入力]** の **ON** にタッチする



バックカメラを表示しない場合は、**OFF** にタッチする

5 **設定終了** にタッチする

バックカメラの切り替えかた

市販のバックカメラなどを接続して、車の後方の映像を画面に表示させることができます。シフトレバーをリバースの位置にすると後方画面に切り替わります。駐車場で後退するときなどに便利です。

1 バックギアを入れる
現在、表示中の映像がバックカメラの映像に切り替わります。



シフトレバーを他のギアに切り替えると、映像は元の映像に切り替わります。

メモ

- 写真はイメージです。
- バックカメラ表示中に **NAVI/AV**、**現在地**、**メニュー**、**行き先** を押すと、バックカメラ映像は解除します。
- バックカメラの使いかたは、バックカメラの説明書をご覧ください。
- ナビゲーションの初期学習が終了していない場合やナビゲーション起動中は、バックカメラには切り替わりません。
- バックカメラを正常に動作させるため、必ずバック信号を接続してください。バック信号の接続は、お使いのナビゲーション本体の『取付説明書』をご覧ください。
- 走行中は画質調整できません。
- バックカメラの映像を左右反転させることはできません。

音を調整する

お好みに合わせてオーディオの音などを調整することができます。

AV設定画面

音質や録音・消音の設定およびDVD初期設定・ワイド設定・入出力設定などを行います。



- ① イコライザー設定
イコライザーカーブを設定します。 「イコライザーカーブを選ぶ」(115P)
- ② タイムアライメント
スピーカーとリスニングポジションまでの距離を設定します。 「車種に合ったタイムアライメントを選ぶ」(120P)「タイムアライメントを詳細に設定する」(121P)
- ③ 音場設定
イメージにあった音場を設定します。 「イメージに合った音場設定で演奏会場を再現する」(117P)
- ④ リスニングポジション
乗車位置などに合わせて聞く位置を設定します。 「音場の中心で聞く」(119P)
- ⑤ バランスフェーダー
前後左右の音量バランスを設定します。 「前後左右の音量バランスを調整する」(111P)
- ⑥ サブウーファー
サブウーファーの出力設定、ハイパスフィルターの設定を行います。
「サブウーファー出力を設定する」(122P)
- ⑦ デジタルATT
イコライザーカーブによる音の歪みを補正します。 「音の歪みを補正する」(124P)
- ⑧ ラウドネス
小音量時のメリハリを設定します。 「小音量時の音にメリハリをつける」(112P)

- ⑨ DRC
ダイナミックレンジコントロールを設定します。 「音の幅を設定する」(124P)
- ⑩ ソースレベルアジャスター
ソースを切り替えたときに音を揃える設定を行います。 「各ソースの音量の違いをそろえる」(112P)
- ⑪ 録音設定
録音時の設定を行います。 「録音時間(CD以外)を設定する」(77P)
- ⑫ 消音設定
消音する状況を設定します。 「音声案内がよく聞こえるようにする」(113P)
- ⑬ ワイド
通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択します。 「ワイド画面の拡大方法を切り替える」(103P)
- ⑭ 入出力設定
VTRやバックカメラ、5.1ch DSPユニットのON/OFFを設定します。 「VTRの入力を設定する」(107P) 「バックカメラの入力を設定する」(108P) 「5.1ch DSPユニットをON/OFFする」(114P)
- ⑮ DVD初期設定
DVDの機能を設定します。 「初期設定をする」(59P)
- ⑯ 設定終了
設定を終了します。

メモ

- AV設定内の画面を表示中に、ハンズフリー音声、音声案内などがあった場合は、各種設定はできません。ただし、消音設定がOFFに設定されている場合は、各種設定を行うことができます。
- 5.1ch DSPユニットの設定がONに設定されている場合は、各種設定を行うことができません。

前後左右の音量バランスを調整する

前後左右の音量バランスを調整することができます（バランスフェーダー）。

メモ

5.1ch DSPユニットの設定がONの場合は、調整することができません。

1

NAVI/AV を押して、オーディオ画面を表示させる

2

AV設定 にタッチする
AV設定画面になります。



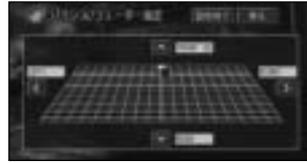
3

バランスフェーダー にタッチする
バランスフェーダー設定画面になります。



4

■ または **■** にタッチして前後のバランスを調節する



カーソルの位置で前後の音のバランスを確認できます

- 前スピーカーの音を強めるとき
- 後ろスピーカーの音を強めるとき

メモ

FRONT25 ~ REAR25の範囲で調整できます。

5

< または **>** にタッチして、左右のバランスを調節する



カーソルの位置で左右の音のバランスを確認できます

- <** 左側スピーカーの音を強めるとき
- >** 右側スピーカーの音を強めるとき

メモ

LEFT25 ~ RIGHT25の範囲で調整できます。

6

設定終了 にタッチする

小音量時の音にメリハリをつける

小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます（ラウドネス）。

メモ

- 初期値は、OFFに設定されています。
- 5.1ch DSPユニットの設定がONの場合は、調整することができません。

1 **NAVI AV** を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定** にタッチする
AV設定画面になります。



3 ラウドネスを働かせる場合は、**[ラウドネス]**の**ON**にタッチする



ラウドネスを働かせない場合は、**OFF**にタッチする

4 **設定終了** にタッチする

各ソースの音量の違いをそろえる

ソースを切り替えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます（ソースレベルアジャスター）。

メモ

- FMの音量を基準に他のソースとの音量を調整するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- AM、テレビ/VTR、MD、DVD、CD/MP3ディスク、ミュージックサーバーのそれぞれの音量を調整することができます。また、交通情報は調整できません。AMと同じ設定になります。テレビとVTRおよびCDとMP3は同じ設定になります。
- 5.1ch DSPユニットの設定がONの場合は、調整することができません。

1 **NAVI AV** を押して、オーディオ画面を表示させる

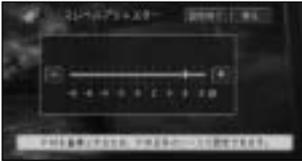
2 **AV設定** にタッチする
AV設定画面になります。



- 3** **ソースレベルアジャスター** にタッチする
ソースレベルアジャスター設定画面になります。



- 4** **-** または **+** にタッチして、レベルを調整する



- 現在のソースの音量が下がる

+ 現在のソースの音量が上がる

メモ

±0を基準に±4段階の範囲で調整が可能です。

- 5** **設定終了** にタッチする

音声案内がよく聞こえるようにする

音声案内、ハンズフリー音声、音声操作の割り込みがあった場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声聞き取りやすくすることができます。

メモ

5.1ch DSPユニットの設定がONの場合は、消音レベルを調整することができません。

- 1** **NAVI/AV** を押して、オーディオ画面を表示させる

- 2** **AV設定** にタッチする
AV設定画面になります。



- 3** **消音設定** にタッチする
消音設定画面になります。



- 4** 消音のタイミングを選んでタッチする



ガイド・電話・認識 消音のタイミングをガイド・電話・認識に合せる

電話・認識 消音のタイミングを電話・認識に合せる

OFF 消音しない

メモ

初期値は **電話・認識** に設定されています。

5 消音の種類を選んでタッチする



-20dB 音量が1/10になる

-10dB 音量が1/3になる

MUTE 音量が0になる

メモ

- 初期値は、-10dBに設定されています。
- 消音タイミングがOFFのときは消音レベルは設定できません。

6 設定終了にタッチする

5.1ch DSPユニットをON/OFFする

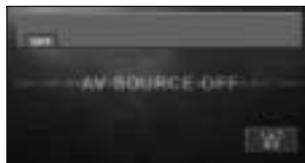
本機に5.1ch DSPユニットを接続したときは、ソースをOFFにしてから5.1ch DSPユニットの設定を**ON**にしてください。

メモ

5.1ch DSPユニットの設定を**ON**にすると、本機のスピーカーから音声は出力されません。

1 **NAVI/AV** を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **SRC** を長く押す
ソースがOFFになり、**入出力設定**が表示されます。



メモ

5.1ch DSPユニットが接続されていない場合は、表示されません。

3 **入出力設定** にタッチする
入出力設定画面が表示されます。



4 [5.1ch DSPユニット] の**ON**にタッチする
確認画面が表示されます。



メモ

DSPユニットを使用しないときは**OFF**にタッチします。

5 **はい** にタッチする

6 **設定終了** にタッチする

音場と音質の調整

お好みの音場設定を楽しむことができます。

イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中からお好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

メモ

- 初期値は、**POWERFUL** に設定されています。
- 5.1ch DSPユニットの設定がONの場合は、調整することができません。

1

NAVI **AV** を押して、オーディオ画面を表示させる

2

AV設定 にタッチする
AV設定画面になります。



3

イコライザー設定 にタッチする
イコライザー設定画面になります。



4

お好みのイコライザーカーブを選んでタッチする



メモ

- CUSTOM1** と **CUSTOM2** はお好みに合わせて調整することができます。
- FLAT** はイコライザーによる音の補正はされていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り替えて、効果を確認することができます。

5

設定終了 にタッチする

イコライザーカーブを大まかに補正する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを調整することで、お好みの音質をつくることができます。

メモ

5.1ch DSPユニットの設定がONの場合は、調整することができません。

1

NAVI **AV** を押して、オーディオ画面を表示させる

イコライザーカーブを選ぶ / イコライザーカーブを大まかに補正する

2 AV設定 にタッチする

AV設定画面になります。



3 イコライザー設定 にタッチする

イコライザー設定画面になります。



4 お好みのイコライザーカーブを選んでタッチする



5 [ニュアンスコントロール]の + または - にタッチして、イコライザーカーブを調整する

+ レベルを上げるとき

- レベルを下げるとき

メモ

- 最大±6の範囲で調整できます。**POWERFUL**、**NATURAL**、**VOCAL**の3つは、下限が-5です。
- FLAT**を選択した場合は、イコライザーカーブを調整できません。**CUSTOM1**、**CUSTOM2**を選んだ場合もニュアンスコントロールの + - はタッチできません。(**CUSTOM1** **CUSTOM2** がFLATになっているとき)

6 設定終了 にタッチする

イコライザーカーブを細かく調整する

お好みに合わせてイコライザーカーブの周波数レベルを細かく調整することができます。

メモ

5.1ch DSPユニットの設定がONの場合は、調整することができません。

1 NAVI AV を押して、オーディオ画面を表示させる

2 AV設定 にタッチする

AV設定画面になります。



3 イコライザー設定 にタッチする

イコライザー設定画面になります。

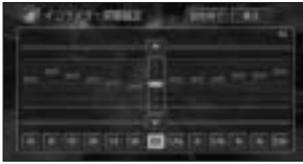


4 詳細設定 にタッチする

イコライザー詳細設定画面になります。



5 調整する周波数を選んでタッチする



選べる周波数 (Hz)

50、80、125、200、315、500、800、1.25k、2k、3.15k、5k、8k、12.5k

6 ■ または ■ にタッチしてタッチして、レベル調整をする



■ 強めるとき

■ 弱めるとき

メモ

±0を基準に±6段階の範囲で調整できます。

7 設定終了 にタッチする

メモ

- CUSTOM1は、ソースごとに記憶されます。DVD、CDとMP3、MSV、AMとFM、TVとVTRは、それぞれ同じ設定になります。
- CUSTOM2は、各ソース共通の設定で記憶されます。
- CUSTOM2以外のカーブを選んでいるときにレベル調整すると、CUSTOM1に記憶されます。
- CUSTOM2のカーブを選んでいるときに、レベル調整するとCUSTOM2に記憶されます。
- 交通情報を受信しているときには、調整できません。
- 走行中は操作できません。

イメージに合った音場設定で演奏会場を再現する

リアルな音場を設定することができます (SFC)。

メモ

- 5.1ch DSPユニットの設定がONの場合は、調整することができません。
- 初期値は、OFFに設定されています。
- SFCとはSound Field Control (サウンドフィールドコントロール)の略です。

1 NAVI AV を押して、オーディオ画面を表示させる

2 AV設定 にタッチする AV設定画面になります。



3 音場設定 にタッチする 音場設定画面になります。



4 お好みの音場にタッチする



各音場にタッチすると、反転して選択 (ON) されたことを表示します。再度タッチすると選択が解除 (OFF) されます。

つづく→

- 5** OCTAVERを切り替える場合、**OCTAVER**にタッチする
OCTAVER選択画面になります。



- 6** **OCTAVER 1** または **OCTAVER 2**にタッチする

- 7** BBEのレベルを調整する場合、**BBE**にタッチする
BBE設定画面になります。



BBEのレベル調整

強めるとき

弱めるとき

メモ

最大±4の範囲で調整できます。
この製品はBBEサウンド・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。この製品は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルはBBE Sound, Inc.の登録商標です。

- 8** **設定終了**にタッチする

STUDIO

CDのような音楽ソースを録音する場所である録音スタジオモニタールームを再現しています。音像を正面に定位し、残響音は付加しません。比較的狭いミキシングルーム壁面からの初期反射音を処理することで、基本的な音場を再現しています。

CLUB

50人程度入れるディスコを再現しています。残響音が吸収されやすい音場を再現し、ビートの効いた音楽を聞くのに適しています。

CONCERT

1000~2000人規模のクラシック音楽専用ホールを再現しています。反射音と残響音により、音の広がりや興行き感を楽しむことができます。

DOME

ドームスタジアムでのライブ演奏をイメージしています。遠くの壁面からの反射音によりエコー音が生じます。その効果でドームスタジアムの広さを感じられる音場を再現しています。

OCTAVER 1/2

超低音を補うことで、低音を強調した重量感のある音で聞くことができます。OCTAVER 2のほうが、OCTAVER 1よりも低音を強調する効果があります。

BBE

高音域の補正とともに低音域を押し上げることで、高音は鮮明に細部まで再現され、低音は締まりのある明確な音となります。このため、ライブ演奏に近い、自然で臨場感のある音で再現することができます。

音場の中心で聞く

乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます（リスニングポジショニングセレクター）。初期値はOFFです。

メモ

5.1ch DSPユニットの設定がONの場合は、調整することができません。

1

 を押して、オーディオ画面を表示させる

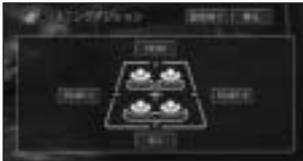
2

AV設定 にタッチする
AV設定画面になります。



3

リスニングポジション にタッチする
リスニングポジション画面になります。



4

お好みのポジションにタッチする



再度タッチすると、OFFになります。

FRONT-R

右ハンドル車に運転者のみがいるとき

FRONT-L

左ハンドル車に運転者のみがいるとき

FRONT

同乗者が助手席にいる場合

ALL

同乗者が後部座席にいる場合

メモ

選択範囲が表示されていないときはOFFになっています。

5

設定終了 にタッチする

音量バランスの微調整 「前後左右の音量バランスを調整する」(111P)

車種に合ったタイムアライメントを選ぶ

あらかじめ車種別に用意されたタイムアライメントの中からお車に合ったものを選ぶことで、自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

メモ

- 初期値は、**SEDAN**に設定されています。
- 車種別タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整する機能です。
- 車種別タイムアライメントは、車種に合ったタイムアライメントをあらかじめ記憶していますので、車種を選ぶことで自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。
- 5.1ch DSPユニットの設定がONの場合は、調整することができません。

1

NAVI AV を押して、オーディオ画面を表示させる

2

AV設定 にタッチする
AV設定画面になります。



3

タイムアライメント にタッチする
タイムアライメント画面になります。



4

車のタイプを選んでタッチする



選べるタイプ

SEDAN、WAGON、MINI VAN、
COMPACT CAR、CUSTOM

メモ

CUSTOMには、お好みに合わせて
詳細設定 で調節したタイムアライメントが記憶されます。

5

設定終了 にタッチする

タイムアライメントを詳細に設定する

車種別タイムアライメントとリスニングポジションを設定することで、自動的にタイムアライメントは設定されますが、タイムアライメント（詳細設定）モードではさらに厳密に調整することができます。

メモ

- リスニングポジションでFRONT-LかFRONT-Rを選んでいないと、タイムアライメントを調整することができません。
- タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離の違いによる音声の到達時間のズレを補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整する機能です。
- 走行中は操作できません。
- サブウーファー出力の設定がOFFの場合は、サブウーファーの距離は設定できません。
- 5.1ch DSPユニットの設定がONの場合は、調整することができません。

1  を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定** にタッチする
AV設定画面になります。



3 **タイムアライメント** にタッチする
タイムアライメント画面になります。



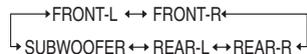
4 **詳細設定** にタッチする
タイムアライメント詳細設定画面になります。



5 **< または >** にタッチして、設定するスピーカーを選ぶ



< または > をタッチごとに、以下のように切り替わります。



6 **- または +** にタッチして、座席からスピーカーまでの距離を設定する

- 距離を近くするとき

+ 距離を遠くするとき

メモ

- 0 ~ 400 cm の範囲で設定が可能です。
- スピーカーまでの距離を2.5 cm ステップで調整できます。
- 走行中は操作できません。

つづく→

タイムアライメントを詳細に設定する

7 設定終了 にタッチする

サブウーファー出力を設定する

サブウーファーから出力される音の設定を行うことができます。

メモ

5.1ch DSPユニットの設定がONの場合は、調整することができません。

1 **NAVI AV** を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定** にタッチする
AV設定画面になります。



3 **サブウーファー** にタッチする
サブウーファー画面になります。



4 **ON** または **OFF** にタッチして、サブウーファー出力のON/OFFを設定する

5 **Normal** または **Reverse** にタッチして、位相を設定する

Normal フロント/リアスピーカーと同時に出力するとき

Reverse フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力するとき

メモ

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転（干渉）すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相（フロント/リアスピーカーと同時に出力される）が良いか、逆相（フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される）が良いかを選んで設定してください。

6 **<** または **>** にタッチして、周波数を選ぶ

選べる周波数

50、63、80、100、125 Hz

メモ

50、63、80、100、125（単位：Hz）から選んだ周波数より低い周波数の音域がサブウーファーから出力されます。

7 **-** または **+** にタッチして、レベルを設定する

- レベルを小さくするとき

+ レベルを大きくするとき

8 **設定終了** にタッチする

低い音を出力しないようにする

選んだ周波数より低い周波数の音がサブウーファー以外の各スピーカーから出力されないように設定できます。(ハイパスフィルター) フロントスピーカー、リアスピーカーのそれぞれでお好みの周波数を設定することができます。

メモ

5.1ch DSPユニットの設定がONの場合は、調整することができません。

1  を押して、オーディオ画面を表示させる

2 **AV設定** にタッチする
AV設定画面になります。



3 **サブウーファー** にタッチする
サブウーファー画面になります。



4 **ハイパスフィルター** にタッチする
ハイパスフィルター画面になります。



フロントスピーカーの調整をする

5 [フロント設定] の **ON** にタッチする
フロントの設定をしない場合は **OFF** を選んでください。

6 **<** または **>** にタッチして、周波数を選ぶ
選べる周波数
50、63、80、100、125 Hz

リアスピーカーの調整をする

5 [リア設定] の **ON** にタッチする
リアの設定をしない場合は **OFF** を選んでください。

6 **<** または **>** にタッチして、周波数を選ぶ
選べる周波数
50、63、80、100、125 Hz

7 **設定終了** にタッチする
メモ

50、63、80、100、125 (単位: Hz) から選んだ周波数より高い音域がフロントまたはリアスピーカーから出力されます。

低い音を出力しないようにする

音の歪みを補正する

デジタルATT（アッテネーター）はイコライザーカーブの調整による音の歪みをなくすことができます。

メモ

- 初期値は、HIGHに設定されています。
- イコライザーカーブの調整（「イコライザーカーブを細かく調整する」（116P））で、レベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの調整で音が歪んだように感じたときは、デジタルATT（アッテネーター）の設定をLOWに切り替えてください。
- 5.1ch DSPユニットの設定がONの場合は、調整することができません。

1

 を押して、オーディオ画面を表示させる

2

AV設定 にタッチする
AV設定画面になります。



3

[デジタルATT] の **HIGH** または **LOW** にタッチして、レベルを選ぶ



4

設定終了 にタッチする

音の幅を設定する

DVDビデオディスク再生時、小音量と大音量の音の幅を一定の幅にコントロール（ダイナミックレンジコントロール）し、小さな音でも聞きやすくすることができます。

メモ

ダイナミックレンジコントロールの効果が見られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。

1

 を押して、ソースを「DVD」にする

2

再生中に画面にタッチする
操作タッチキーが表示されます。

3

 にタッチする
2ページ目の操作タッチキーが表示されます。

メモ

前ページに戻るには  にタッチします。

4

AV設定 にタッチする
AV設定画面になります。



5

[DRC] の **ON** または **OFF** にタッチする

メモ

ソースが「DVD」以外のときは、[DRC] を設定することはできません。

6

設定終了 にタッチする

音声で操作できる機能

付属の音声認識コントローラーとマイクを使って操作できる、代表的な機能は次のとおりです。

DVD/CD/MP3 ディスク	ソースの切り替え トラックの切り替え フォルダの切り替え (MP3ディスク) チャプターの切り替え (DVD) トラック番号の指定 (MP3ディスク) タイトルの切り替え (DVD)
ミュージック サーバー	ソースの切り替え プレイリストの切り替え トラックの切り替え プレイリスト名の指定 トラック名の指定 トラック番号の指定
VTR	ソース切り替え
テレビ	ソース切り替え チャンネル切り替え チャンネル番号ダイレ クト 放送局名ダイレクト バンド切り替え
FM/AM	ソース切り替え 放送局切り替え (UP/DOWN) 放送局名ダイレクト バンド切り替え

メモ

- トラック名の指定は、再生中のプレイリストに含まれる曲のみ対象となります。
- PCカード内のMP3ファイルは、プレイリスト名の指定およびトラック名の指定はできません。
詳しくは、『ナビゲーションブック』の「音声操作」を参照してください。

本機のリセットのしかた

次のようなときは、本機のリセットボタンを押して、マイコンをリセットしてください。

- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

ご注意

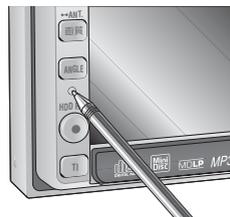
本機は、リセットボタンを押すとディスプレイの傾きが自動的に傾いていない状態に戻ります。リセットボタンを押すときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

リセットすると

- MSV、CD、MP3、MDの前回再生のトラックはクリアされます。
- TV、FM/AMのプリセットもクリアされます。
- AV設定もクリアされます。

リセットする

ボールペンの先などで、リセットボタンを押す



メモ

本機のリセットボタンを押しても、登録地点やルート、センサーの学習内容、ミュージックサーバーなどの内容は消去されませんのでご安心ください。

リアモニターを組み合わせる

本機のリアモニター出力端子に後部座席用モニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

接続のしかたは『取付説明書』を参照してください。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、本機で表示されている映像が表示されます。ただし、テレビ、DVDビデオまたはVTRのときは、本機の映像に関係なく、常にテレビ、DVDビデオまたはVTRの映像が表示されます。
- リアモニターは、走行中/停車中に関係なく映像が表示されます。このため、走行中でもテレビ、DVDビデオやVTRの映像を見ることができます。
- バックカメラ映像はリアモニターに出力されません。

ご注意

リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

メモ

リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示されるナビゲーション及びオーディオ画面は、本体に表示される映像と比べて劣化します。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

MP3ファイルについて

MP3とは？

MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ<http://www.mp3licensing.com>をご覧ください。

営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

再生できるMP3ファイルについて

本機はMP3ファイルのCD-ROM、またはCD-R/RWディスク、PCカードを再生することができます。ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクが再生可能です。

メモ

- MP3ファイルに名前を付けるときは、半角で拡張子（.mp3）を付けてください。

例：01abcdef.mp3

- ファイル名は、拡張子（.mp3）を含めて半角で255文字（全角で127文字）以内にしてください。
- 本機は、拡張子（.mp3）が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子（.mp3）を付けないでください。

ID3 TagのVer1.0およびVer1.1、Ver2.Xのalbum（ディスクタイトルとして表示）、track（トラックタイトルとして表示）、artist（アーティストとして表示）の表示に対応しています。

44.1 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみ、エンファシスに対応しています。なお、再生可能なサンプリング周波数は44.1 kHzです。

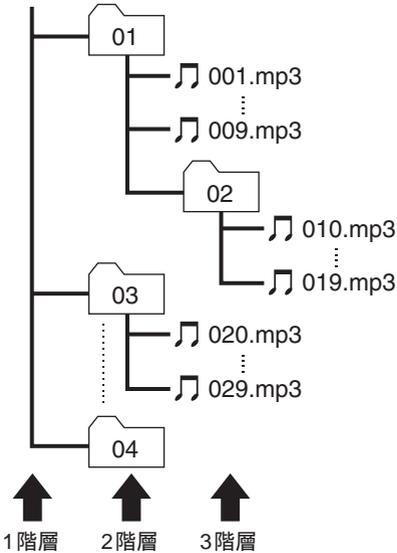
一般的にMP3ファイルは、ビットレートが高くなるほど音質は良くなります。本機は、8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256kbpsまでのMP3ファイルの再生に対応していますが、一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbpsのビットレートで記録されたディスクおよびPCカードの使用を推奨します。

- パケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマットには対応していません。
- VBR（可変ビットレート）のMP3ファイルには対応していません。

フォルダとMP3ファイルについて

MP3ファイルがCD-ROMに収録されているイメージを下図に示します。

(ルートディレクトリ)



メモ

- MP3ファイルは、左図の例では、ファイル名に示される順番(001.mp3、…、009.mp3、…)で認識されます。
- MP3ファイルを含まないフォルダは認識されません。
- Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみ再生はできます。
- 8階層(ルートディレクトリ含む)までのMP3ファイルの再生に対応していますが、フォルダがたくさんあるディスクおよびPCカードは、再生が始まるまでに時間がかかります。
- ディスクに含まれるフォルダは256個まで、MP3ファイルは400個まで再生できます。PCカード内のMP3ファイルは99個まで再生できます。
- PCカード内のMP3ファイルは、各ファイルが複数のフォルダに保存されていても、フォルダおよびフォルダごとのファイルの表示はできません。

言語コード表

言語名(言語コード)	入力コード
日本語(ja)	1001
英語(en)	0514
フランス語(fr)	0618
スペイン語(es)	0519
ドイツ語(de)	0405
イタリア語(it)	0920
中国語(zh)	2608
オランダ語(nl)	1412
ポルトガル語(pt)	1620
スウェーデン語(sv)	1922
ロシア語(ru)	1821
韓国語(ko)	1115
ギリシャ語(el)	0512
アファル語(aa)	0101
アブジャ語(ab)	0102
アフリカンス語(af)	0106
アムハラ語(am)	0113
アラビア語(ar)	0118
アッサム語(as)	0119
アイマラ語(ay)	0125
アゼルバイジャン語(az)	0126
バシール語(ba)	0201
ベラルーシ語(be)	0205
ブルガリア語(bg)	0207
ビハリー語(bh)	0208
ビスラマ語(bi)	0209
ベンガル語(bn)	0214
チベット語(bo)	0215
ブルトン語(br)	0218
カタロニア語(ca)	0301
コルシカ語(co)	0315
チェコ語(cs)	0319
ウェールズ語(cy)	0325
デンマーク語(da)	0401
ブータン語(dz)	0426
エスペラント語(eo)	0515
エストニア語(et)	0520
バスク語(eu)	0521
ペルシア語(fa)	0601
フィンランド語(fi)	0609
フィジー語(fj)	0610
フェロー語(fo)	0615
フリジア語(fy)	0625
アイルランド語(ga)	0701
スコットランドゲール語(gd)	0704
ガルシア語(gl)	0712

言語名(言語コード)	入力コード
グアラニ語(gn)	0714
グジャラート語(gu)	0721
ハウサ語(ha)	0801
ヒンディー語(hi)	0809
クロアチア語(hr)	0818
ハンガリー語(hu)	0821
アルメニア語(hy)	0825
国際語(ia)	0901
interlingue(ie)	0905
イスビアック語(ik)	0911
インドネシア語(in)	0914
アイスランド語(is)	0919
ヘブライ語(iw)	0923
イディッシュ語(ji)	1009
ジャワ語(jw)	1023
グルジア語(ka)	1101
カザフ語(kk)	1111
グリーンランド語(kl)	1112
カンボジア語(km)	1113
カンナダ語(kn)	1114
カシミール語(ks)	1119
クルド語(ku)	1121
キルギス語(ky)	1125
ラテン語(la)	1201
リンガラ語(ln)	1214
ラオス語(lo)	1215
リトアニア語(lt)	1220
ラトビア語(lv)	1222
マダガスカル語(mg)	1307
マオリ語(mi)	1309
マケドニア語(mk)	1311
マラヤーラム語(ml)	1312
モンゴル語(mn)	1314
モルダビア語(mo)	1315
マラータ語(mr)	1318
マライ語(ms)	1319
マルタ語(mt)	1320
ビルマ語(my)	1325
ナウル語(na)	1401
ネパール語(ne)	1405
ノルウェー語(no)	1415
プロバンス語(oc)	1503
オロモ語(om)	1513
オリヤー語(or)	1518
パンジャブ語(pa)	1601
ポーランド語(pl)	1612

言語名(言語コード)	入力コード
アフガニスタン語(ps)	1619
ケチュア語(qu)	1721
レートロマン語(rm)	1813
キルンディ語(rn)	1814
ローマ語(ro)	1815
キニヤルワンダ語(rw)	1823
サンスクリット語(sa)	1901
シンド語(sd)	1904
サンド語(sg)	1907
サルボアクロアチア語(sh)	1908
セイロン語(si)	1909
スロバック語(sk)	1911
スロベニア語(sl)	1912
サモア語(sm)	1913
シヨナ語(sn)	1914
ソマリ語(so)	1915
アルバニア語(sq)	1917
セルビア語(sr)	1918
シスワティ語(ss)	1919
セストゥ語(st)	1920
スダグ語(su)	1921
スワヒリ語(sw)	1923
タミル語(ta)	2001
テルグ語(te)	2005
タジル語(tg)	2007
タイ語(th)	2008
チギリ語(ti)	2009
ツルキ語(tk)	2011
タガログ語(tl)	2012
セツワナ語(tn)	2014
トンガ語(to)	2015
トルコ語(tr)	2018
ツォンガ語(ts)	2019
タタル語(tt)	2020
トウィ語(tw)	2023
ウクライナ語(uk)	2111
ウルドゥー語(ur)	2118
ウズベク語(uz)	2126
ベトナム語(vi)	2209
ボラビュク語(vo)	2215
ウォルフ語(wo)	2315
コーサ語(xh)	2408
ユルバ語(yo)	2515
ズールー語(zu)	2621

DVD用語の解説

テレビアスペクト

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニター4:3、ワイドモニター16:9の比率です。

視聴制限（パレンタルロック）

暴力シーンなどを含むDVDには、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクに、視聴制限レベルを設定して、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生することができます。

タイトル

DVDは大容量なので、1枚のディスクに複数の映画を記憶することもできます。たとえば、1枚のディスクに異なる3つの映画が記憶されている場合は、タイトル1、タイトル2、タイトル3に分けられており、タイトルサーチなどの操作をすることができます。

チャプター

DVDのタイトル内をいくつかのセクションに区切り、番号付けしたものです。チャプターが記憶されているディスクでは、チャプターサーチなどの操作をすることができます。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点になります。DVDには、同時に複数台のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、見る側で自由に選ぶことができます。

マルチ音声

DVDには、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります（最大8言語）。その中からお好みの言語を選ぶことができます。

マルチ字幕（サブタイトル）

映画などでおなじみの字幕です。DVDでは、字幕の言語を最大32カ国語まで記憶することができます。その中からお好みの言語を選ぶことができます。

リージョン番号

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョン番号）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は、再生できません。本機のリージョン番号は、“2”です。

MP3用語の解説

パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (ATRAC3など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

マルチセッション

マルチセッションは、データの追記ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトウェアを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1 :

ファイル名は、8.3形式 (半角英大文字と半角数字、"_"で名前は8文字以下、拡張子は3文字以下) で、各フォルダの階層は8つ以下

レベル2 :

ファイル名は、最大31文字 (区切り文字、"."と拡張子を含む) で、各フォルダの階層は8つ以下

拡張フォーマット

Joliet :

ファイル名は、最大で64文字

Romeo :

ファイル名は、最大で128文字

m3u

プレイリストファイルの拡張子 (.m3u) で、「WINAMP」というソフトウェアで作成したプレイリストに付きます。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

VBR (バイビートル)

「Variable Bit Rate (可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR (固定ビットレート) が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください。
「本機のリセットのしかた」(126P)

それでも直らないときは

『スタートブック』、「保証書発行兼お客様登録カード」とアフターサービスをお読みになり修理を依頼してください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 『取付説明書』
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 『取付説明書』
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 「本機のリセットのしかた」(126P)
再生できない	ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 「再生できるディスクの種類」(15P)
エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認している。	正常な動作です。
映像の色が薄い。 または濃い。	色の濃さまたは色あいの調整が適切でない。	色の濃さまたは色あいを調整してください。 「色の濃さや色あいを調整する」(102P)
映像の色あいがおかしい。		

共通項目（つづき）

症状	原因	処置
映像が明るい。 映像が暗い。	コントラストの調整が適切でない。	コントラストを調整してください。 「黒の濃さやコントラストを調整する」(101P)
液晶画面が暗い。	明るさの調整が適切でない。	明るさを調整してください。「液晶画面の明るさを調整する」(102P)
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなることがありますので、ヒーターで車内の温度を上げてください。
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。
	5.1ch DSPユニットの設定がONになっている。	接続を確認してください。
	接続が間違っている。	
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
音が小さい。	音量を下げています。	音量を上げてください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整してください。 「前後左右の音量バランスを調整する」(111P)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整してください。 「前後左右の音量バランスを調整する」(111P)
バックカメラに切り替わらない。	バックカメラ入力の設定がOFFになっている。	バックカメラ入力をONに設定してください。「バックカメラに切り替える」(108P)
	センサ初期学習が完了していない。	センサ初期学習が完了するまでお待ちください。

テレビ

症状	原因	処置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 「テレビの見かた」(24P)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 「テレビの見かた」(24P)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りがよくなり、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 「テレビの見かた」(24P)

ラジオ

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 「ラジオの聞きかた」(31P)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 「ラジオの聞きかた」(31P)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
	オートアンテナがOFFになっている。	オートアンテナをONにしてください。 「オートアンテナの操作について」(22P)
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。「ラジオの聞きかた」(31P)

MD

症状	原因	処置
MDソースに切り替わらない。	MDが挿入されていない。	MDを挿入してください。
MD再生中に、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。 MDが自動的に出てくる。	MDにくもりや水滴がついている。	MDのくもりや水滴を拭き取ってください。『スタートブック』、「MDの正しい使いかた」
	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	録音されていないMDを挿入した。	
	MDが正しい向きで挿入されていない。	MDを取り出して正しい向きに挿入してください。『MDの聞きかた』(46P)

DVD

症状	原因	処置
再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	 で画面を切り替えてください。
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。 「レベルを変更する」(63P)
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 「レベルを変更する」(63P)
	暗証番号を忘れてしまった。	削除 を10回押し、暗証番号を解除します。 「暗証番号を忘れたときは」(64P)

DVD (つづき)

症状	原因	処置
音声言語、字幕言語が切り替えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り替えられません。
	ディスクのメニューでしか切り替えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り替えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り替わりません。
アングルを切り替えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り替えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります。(故障ではありません。)
Ⓢ(禁止マーク)が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	■を押してから、もう一度再生してください。

CD/MP3ディスク

症状	原因	処置
音が出ない。	2倍速で録音している。	録音を停止し、録音速度を等倍速録音にしてください。「録音速度を設定する」(77P)
CD再生中に、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。	CDにキズやそりがある。	他のCDと交換してください。症状が改善されれば、CDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れを拭き取ってください。 『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
	CDの曇り、またはCDに水滴が付いている。	CDの曇りや水滴を拭き取ってください。
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。

MP3ファイル

症状	原因	処置
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
MP3ファイルを再生できない。	MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」の付いたディスクに交換してください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
	256kbpsを超えるビットレートで記録されている。	ビットレートが256kbps以下で記録されたMP3ファイルにしてください。
MP3ファイル再生中に大きな雑音が出る。 MP3ファイル再生中に音が出なくなる。	MP3形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けている。	ディスクを交換してください。(MP3形式でないファイルに「.mp3」拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください。)
聞きたいMP3ファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」の付いたディスクに交換してください。

MP3ファイル(つづき)

症状	原因	処置
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
MP3ファイル再生が、記録した順と異なる。	MP3ファイルは、記録したときの順番通りに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

ミュージックサーバー

症状	原因	処置
プレイリストが再生できない。	プレイリストの再生が許可されていない。	再生許可に切り替えてください。 「再生しないプレイリストを設定する」(89P)
	ポーズ(一時停止)がONになっている。	ポーズをOFFにしてください。 「再生を一時停止する」(72P)
CDが録音されていない。	CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。 「CD録音の制限について」(78P)
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	電話が接続されていない。	電話の接続を確認してください。
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。

こんなメッセージが表示されたら

ディスクを正常に再生できないときは、エラーメッセージが表示されます。

共通項目

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
Error-5 Error-6	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	リセットボタンを押してください。 「本機のリセットのしかた」 (126P)
温度保護回路作動中	本機の内部温度に異常がある。	本機が正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。『取付説明書』

DVD/CD/MP3ディスク

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
Error-2	ディスクの読み取り状態に異常がある。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
再生ができません。 ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 「再生できるディスクの種類」 (15P)
ディスクが入っていません。	ディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。

DVD/CD/MP3ディスク(つづき)

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 「再生できるディスクの種類」 (15P)
高温、または低温のため、DVD(CD)が再生できません。ディスクをとりだしてください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。 『取付説明書』

MD

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
[高温、または低温のためMDが再生できません。ディスクをとりだしてください。]	本機の内部温度が高い、または低いとき	MDを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。
[ERROR 11,12,17,30]	MDが汚れているとき MDにキズやひびがあるとき	他のMDと交換してください。
[ERROR 20,21]	振動などが原因で曲の情報を読み取れなかったとき MDに異常(損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき	MDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のMDと交換してください。
[ERROR 20,21]	MDに異常(損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき	他のMDと交換してください。
[ERROR 22,24]	音楽以外の情報が記録されたMDを使用したとき	音楽が録音されたMDを使用してください。
[ERROR 23]	本機の電気系、機械系の故障が考えられるとき	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめて、もう一度MD再生をしてください。
[ERROR 01,11,12,17,30,A0]	本機の電気系、機械系の故障が考えられるとき	MD再生を一度やめて、リセットボタンを押して、もう一度MD再生をしてください。「本機のリセットのしかた」(126P)

MD (つづき)

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
[ERROR]	MDが何らかの原因で再生しないとき	他のMDと交換してください。 リセットボタンを押してください。 「本機のリセットのしかた」(126P)
[Blank MD]	何も録音されていないIMDを挿入したとき	他のMDと交換してください。

TOC (Table Of Contents) とは、CD、MD、DATなどに収録されている曲数、演奏時間、タイトルなどの音声信号以外の情報のことです。

ミュージックサーバー

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
このCDは録音できません。	CD-Rなどコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のCDなど、コピー可能なディスクに交換してください。
低温のためHDDにデータが書き込めませんでした。	低温のため、データが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
HDD容量不足のため、録音できません。	HDD(ハードディスク)の残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。 「プレイリストを消去する」(88P)、 「曲を消去する」(93P)
このトラックはすでに録音されています。	マニュアル録音モードで、録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは、同じCDから重複して録音できません。
ミュージックサーバーのデータ転送に失敗しました。販売店またはサービスステーションに御相談ください。	録音・再生プログラムに異常がある。	販売店またはサービスステーションにご相談ください。

索引

メニュー索引

DVD	停止	P53	MSV	リピート	P70	AV設定	イコライザー設定	P115	
	再生一時停止	P54		ランダム	P70		タイムアライメント	P120	
	コマ送り	P54		スキャン	P71		音場設定	P117	
	リピート	P55		ポーズ	P72		リスニングポジション	P119	
	AV設定	P58		ヒットチャート	P72		バランスフェーダー	P111	
	トップメニュー	P51		詳細情報	P76		サブウーファー	P122	
	メニュー	P59		AV設定			デジタルATT	P124	
	音声	P56		リスト切替	P68		ラウドネス	P112	
	字幕	P56			P69		DRC	P124	
	アングル	P62		TV	エリアユーザー		P27	ソースレベルアジャスター	P112
	リターン	P58			BSSM		P28	録音設定	P77
	10キーサーチ	P51			BAND		P28	消音設定	P113
	AV設定	P58			多重		P29	ワイド	P103
		リストOFF	P30		入出力設定	P107			
		AV設定	P30		DVD初期設定	P59			
			P29		設定終了				
CD	リピート	P37	FM	エリアユーザー	P33	メニュー索引			
	ランダム	P37		BSSM	P34				
	スキャン	P38		BAND	P33				
	ポーズ	P38		AV設定	P35				
	AV設定	P39		P35					
		P39	MD	リピート	P47				
MP3	リピート	P42		ランダム	P47				
	ランダム	P42		スキャン	P47				
	スキャン	P43		ポーズ	P48				
	ポーズ	P44		AV設定	P48				
	詳細情報	P44		P48					
AV設定	P45	VTR	AV設定	P107					
	P45			P107					

用語索引

五十音順

あ行

明るさ	102
アシスト字幕	62
アングル	57
アングル選択マーク	62
暗証番号	63
イコライザー	109、115
色あい	102
色の濃さ	102
エリア	26、27、33
エリアプリセットチャンネル	26
エリアプリセット放送局	32、33
オートアンテナ	22
オリジナルプレイリスト	66、82、88、93
音場設定	109、117
音声言語	60
音声の録音	29、34、48、49
音声多重放送	29

か行

画像	86
黒の濃さ	101
交通情報	49
コマ送り	54
コンディションメモリー	58
コントラスト	101

さ行

再生順変更	87
再生(不)許可	89
サブウーファー	109、122
視聴制限レベル	63、65
自動選局	25
シネマ	104
字幕	56
字幕言語	60
ジャスト	104
主音声	29
手動選局	25
消音設定	110、113
消去	88、93
詳細情報	44、69、82
情報取得	96
初期設定	59
新規ユーザープレイリスト	82

シングル	76、78、80
スキャン再生	38、43、47、71
スロー	55
ズーム	104
静止画	54
ソース	20
ソースレベルアジャスター	110、112

た行

タイトル	40、95、131
タイトル情報	95
ダイナミックレンジコントロール	124
タイムアライメント	109、120
多重	29
チャートリンク情報	93
ディスクローズ	16
デジタルATT	109、124
テレビ	24、135
テレビアスペクト	64
トラック追加	91
トラックリスト	37、47

な行

ノーマル	104
------	-----

は行

ハイパスフィルター	123、129
バケットライト	128、132
バックカメラ	110、108
早送り	36、41、46、67
早戻し	36、41、46、67
バランスフェーダー	109、111
バンド	26、32
ピクチャーインピクチャー	150
ピクチャーサイドピクチャー	105
ヒットチャート再生	73
ビットレート	128、132
ファイナライズ	16
フォルダ	129
副音声	29
プリセットチューニング	26、32
フル	104
プレイリスト	67、82
プレイリスト情報取得	96
ポーズ再生	38、44、48、72

ま行

マイデータベース	97
マニュアル	76、78、79
マニュアルプリセット	30、35

マルチセッション	132
ミュージックサーバー	66、139、142
メニュー言語	61
や行	
ユーザー	26、27、33
ユーザープリセットチャンネル	26
ユーザープリセット放送局	32
ユーザープレイリスト	66、82、88、93
ら行	
ラウドネス	109、112
ラジオ	31、135
ランダム再生	37、42、47、70
リアモニター	127
リストオフ表示	30、35、39、45、48
リスト切替	68、99
リスニングポジション	109、119
リセット	10、126
リターン	58
リピート再生	37、42、47、55、70
リージョン番号	16、17、131
録音	76
録音時間	77
録音設定	77、110
録音速度	77
録音モード	76
わ行	
ワイド映像	103

数字・アルファベット順

A	
AM	31
AV設定	30、35、39、45、48、 58、109、
B	
BAND	27、31
BBE	118
BSSM	28
BSM	34
C	
CCCD	16
CD	36、138、141
CINEMA	104
D	
DDCD	16
DRC	110

F	
FM	31
FOLDER RANDOM	42
FOLDER REPEAT	42
FOLDER SCAN	43
FULL	104
G	
Gracenote CDDb	95
I	
ID3-Tag	132
ISO 9660フォーマット	132
J	
Joliet	132
jpeg	86
JUST	104
M	
m3u	128、132
MD	46、136、141
MDLP	11
MP3	40、99、132、138
MP3ディスク	40、138、141
MP3ファイル	99、128、129
N	
NORMAL	104
O	
OFF	24、29、30、32、38、 42、43、44、48、49、55、 70、71、72、108、112、114
OCTAVER	118
P	
PCカード	91、99、127
P in P	105
PLAYLIST RANDOM	70
PLAYLIST REPEAT	70
PLAYLIST SCAN	71
P side P	105
R	
RANDOM	42、70
REPEAT	42、70
S	
SCAN	43、71
SFC	117
V	
VBR	132
VTR	107
Z	
ZOOM	104



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

ご購入後の製品の修理・取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください

修理のご依頼は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえ、お買い求めの販売店へご相談ください。取り付け・組み合わせなどのお問い合わせにつきましても、お買い求めの販売店へご相談・ご相談ください。

下記窓口へのお問い合わせ時のご注意

市外局番「0070」で始まるフリーフォンおよび「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。また、一般電話は携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

携帯電話などの走行中の使用などの禁止に関する規定が、改正道路交通法（法第71条第5号の5）にて施行されています。自動車または原動機付自転車（原付）からの、携帯電話などによる発信・応答・通話、安全な場所に止めてからご利用ください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

カーオーディオ/カーナビゲーション製品のご相談窓口： **0070-800-8181-11**
03-5496-8016（一般電話）

カタログのご請求窓口： **0070-800-8181-33**
ファックス：**03-3490-5718**

バイオニアホームページでのご案内

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>
カタログ請求とメールサービス登録のご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入に関するご相談については、部品受注センターにご相談ください。

部品受注センター（フリーダイヤル）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話： **0120-5-81095**
0538-43-1161（一般電話）

ファックス： **0120-5-81096**

ご贈答品などの修理についてのご相談窓口

修理のお問い合わせは、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえお問い合わせください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、下記の修理受付センターにご相談ください。

修理受付センター（沖縄県を除く全国）（フリーダイヤル）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話： **0120-5-81028**
03-5496-2023（一般電話）

ファックス： **0120-5-81029**

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話：**098-879-1910**（一般電話）
ファックス：**098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

©パイオニア株式会社 2003

< KAMFF/03D00000 > < CRA3514-A >